

第 32 回岩手県文化芸術振興審議会

日時：令和4年2月14日（月）13時30分～

場所：Web 開催

次 第

1 開 会

2 挨拶

3 議 事

(1) 協議

ア 「いわて県民計画（2019～2028）」第1期アクションプランの進捗状況について 【資料1】

イ 「第3期岩手県文化芸術振興指針」に基づく令和3年度の取組状況について 【資料2】

ウ 文化スポーツ部における令和4年度の主要事業について 【資料3】

(2) 報告

新型コロナウイルス感染症による「第3期岩手県文化芸術振興指針」指標の見直しについて 【資料4】

(3) その他

4 閉 会

第 32 回岩手県文化芸術振興審議会 出席者名簿

○ 第 7 期岩手県文化芸術振興審議会委員

(任期：令和 2 年 8 月 1 日～令和 4 年 7 月 31 日)

No	氏名	所属・役職等	出欠
1	阿部 武司	東北文化財映像研究所代表 三陸国際芸術祭運営委員（民俗芸能アドバイザー）	○
2	板垣 崇志	社会福祉法人光林会るんびにい美術館 アートディレクター	○
3	上柿 剛	公益社団法人全国高等学校文化連盟会長 岩手県立盛岡第四高等学校校長	○
4	上田 吹黄	一級建築士事務所ちいろば設計	○
5	木村 敦子	「てくり」編集人 アートディレクター	○
6	熊谷 常正	岩手県文化財保護審議会委員 盛岡大学文学部教授	○
7	見年代 瞳	岩手県文化芸術コーディネーター 特定非営利活動法人やませデザイン会議事務局次長	○
8	齋藤 桃子	石神の丘美術館主任学芸員	○
9	佐藤 恭子	岩手県立大学盛岡短期大学部准教授	○
10	柴田 和子	一般社団法人岩手県芸術文化協会会長	○
11	高橋 嘉行	公益財団法人岩手県文化振興事業団理事長	○
12	田口 博子	岩手県弦楽研究会会員 岩手大学教育学部非常勤講師	○
13	中嶋 奈津子	岩手県文化財保護審議会委員 佛教大学非常勤講師	○
14	平山 徹	岩手県民俗芸能団体協議会副会長 大船渡市郷土芸能協会会長	×
15	増淵 敏之	法政大学大学院教授 希望郷いわて文化大使	○
16	本村 健太	岩手大学人文社会科学部教授	○

(令和 3 年 4 月 1 日現在、敬称略、五十音順)

○ 事務局（関係機関）

部局	所属・職	氏名	出欠
教育委員会事務局 生涯学習文化財課	文化財課長	岩渕 計	×
県土整備部 都市計画課	主査	赤坂 秀樹	×
盛岡広域振興局 経営企画部	特命課長 (文化スポーツ振興)	昆 英子	×
県南広域振興局 経営企画部	特命課長 (文化スポーツ振興)	小野 綾子	○
県北広域振興局 経営企画部	特命課長 (文化スポーツ振興)	小川 哲也	○
沿岸広域振興局 経営企画部	特命課長 (文化スポーツ振興)	菅原 英明	○

○ 事務局（文化スポーツ部）

部局	所属・職	氏名
文化スポーツ部	部長	熊谷 正則
	文化振興課総括課長	岡部 春美
	文化芸術担当課長	菊池 剛
	主幹兼世界遺産特命課長	和田 英子

「いわて県民計画（2019～2028）」
第 1 期アクションプランの
進捗状況について

(参考：各指標の考え方)

【「評価結果の概要」の考え方】

評価区分	評価の考え方
順調	政策項目に関連する全ての「いわて幸福関連指標」が達成度80%以上（指標達成度A又はB）であり、各推進方策における県の取組状況や取り巻く状況などを踏まえ、政策項目の「基本方向」の実現に向け順調に進んでいることから、引き続き取組を推進するもの。
概ね順調	達成度80%以上の政策項目に関連する「いわて幸福関連指標」が半数以上であり、各推進方策における県の取組状況や取り巻く状況などを踏まえ、政策項目の「基本方向」の実現に向け概ね順調に進んでおり、一部見直しを行いながら、引き続き取組を推進するもの。
やや遅れ	達成度80%以上の政策項目に関連する「いわて幸福関連指標」が半数未満であり、各推進方策における県の取組状況や取り巻く状況などを踏まえ、政策項目の「基本方向」の実現に向けあまり順調に進んでいないことから、一部見直しのほか、より効果的な取組を検討するなど、一層の施策の推進が必要なもの。
遅れ	達成度 60%未満（指標達成度D）の政策項目に関連する「いわて幸福関連指標」が半数以上であり、各推進方策における県の取組状況や取り巻く状況などを踏まえ、政策項目の「基本方向」の実現に向け順調に進んでいないことから、見直しや改善を行うなど、更なる重点的な施策の推進が必要なもの。

【「県の取組（具体的推進方策）の状況」の考え方】

評価区分	評価の考え方
順調	全ての「具体的推進方策指標」が達成度 80%以上であり、各推進方策を構成する事務事業の取組状況などから順調に取り組んでいると考えられるもの。
概ね順調	達成度 80%以上の「具体的推進方策指標」が半数以上であり、各推進方策を構成する事務事業の取組状況などから概ね順調に取り組んでいると考えられるもの。
やや遅れ	達成度 80%以上の「具体的推進方策指標」が半数未満であり、各推進方策を構成する事務事業の取組状況などからやや遅れていると考えられるもの。
遅れ	達成度 60%未満（指標達成度D）の「具体的推進方策指標」が半数以上であり、各推進方策を構成する事務事業の取組状況などから遅れていると考えられるもの。

【「具体的推進方策指標」の考え方】

評価区分	目標達成率	達成率の算出方法
A	100%以上	達成率＝実績値／目標値×100
B	80%以上100%未満	
C	60%以上80%未満	
D	60%未満	

4 幅広い分野の文化芸術に親しみ、 生涯を通じてスポーツを楽しむ機会を広げます

（基本方向）

幅広い分野の文化芸術に親しむ機会の拡大に向け、年齢、性別、障がいの有無に関わらず、県民が身近な場所で手軽に文化芸術活動を発表・鑑賞できる機会の充実を図ります。

また、岩手県の多彩な魅力の発信とブランド力の向上を図るため、本県ならではの文化について、文化をめぐる新しい動向などを踏まえながら、国内外への展開や観光分野をはじめとした幅広い分野への活用を進めます。

県民が心身ともに健康的に暮らせるよう、身近な地域でスポーツ活動ができる総合型地域スポーツクラブの活性化などを通じて、若年期から高齢期までのライフステージに応じたスポーツを楽しむ機会の充実を図ります。

また、障がい者スポーツの一層の推進を図るため、障がいのある人もない人も共に楽しむスポーツ大会や教室の開催などを通じて、障がい者のスポーツへの参加機会の充実や障がい者スポーツの理解促進に取り組みます。

さらに、年齢や身体能力、障がいの有無等に関わらず、県民一人ひとりがスポーツに取り組む新しい地域社会を創造するため、岩手発の「超人スポーツ」の創出等により、スポーツへの参加機会を広げます。

【評価結果の概要】

政策項目が属する政策分野の評価結果	この政策項目の評価	
	評価結果	評価理由
C	やや遅れ	<ul style="list-style-type: none"> 政策項目に関連するいわて幸福関連指標3指標は、達成度Aの指標が1指標（33%）、達成度Dの指標が2指標（67%）でした。 6つの具体的推進方策の評価結果は、順調が1つ、概ね順調が4つ、遅れが1つとなっており、全体として「概ね順調」との評価結果でした。 文化芸術団体などにおいて、新型コロナウイルス感染症の影響により活動の中止や延期を余儀なくされていましたが、オンライン配信を活用した活動発表などの取組が推進されています。 ◎以上の結果から、「やや遅れ」と判断しました。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							H29	R2	比較
8 余暇時間〔一日当たり〕 ※1	分	②373	390	382	370	D	-	-	-
9 県内の公立文化施設における催事数※2	件	1,316	1,385	1,358	583	D	-	-	-
10 スポーツ実施率	%	61.7	③65.0	①64.0	①65.3	A	-	-	-

※1 休日を含む1週間の平均

※2 岩手県内公立文化施設協議会加盟施設のうち、各市所在の主な12施設の催事数

【特記事項】

- 余暇時間〔一日当たり〕は、1日の24時間から睡眠や食事などの生理的に必要な時間と、仕事や家事などの社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動時間を差し引いたものですが、「いわてで働こう推進協議会」が中心となり「いわて働き方改革推進運動」を展開し、総実労働時間の短縮に努めたものの、義務的な性格の強い活動時間のうち、仕事の時間が十分に減少しなかったことなどにより、達成度は【D】となりました。
- 県内の公立文化施設における催事数は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一時休館や、公演等の中止が相次いだため、達成度は【D】となりました。なお、令和2年度においては、消毒液を設置するなどの感染症対策を行い、利用者が安全安心に施設利用できるよう環境整備を行いました。

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

県の取組の評価結果	参考)具体的推進方策指標の達成度
概ね順調	<p>12指標</p> <p>A 6指標 50%</p> <p>D 4指標 34%</p> <p>C 1指標 8%</p> <p>B 1指標 8%</p>
<p>(評価結果の説明)</p> <p>6の推進方策のうち「順調」が1つ、「概ね順調」が4つ、「遅れ」が1つとなっていることから、「概ね順調」と判断しました。</p>	

具体的推進方策	取組状況	説明
① 県民が日常的に文化芸術に親しむ機会の充実	概ね順調	推進方策指標3指標の達成度が、「A」が1指標、「B」が1指標、「D」が1指標であり、構成する事務事業も概ね順調に取り組まれていることから、「概ね順調」と判断しました。
② 文化をめぐる新しい動向に対応した取組の推進	遅れ	推進方策指標2指標の達成度が、「D」が2指標であり、構成する事務事業が概ね順調に取り組まれているものの、「遅れ」と判断しました。
③ 障がい者の文化芸術活動の推進	概ね順調	推進方策指標2指標の達成度が、「A」が1指標、未確定等が1指標であり、構成する事務事業も概ね順調に取り組まれていることから、「概ね順調」と判断しました。
④ ライフステージに応じたスポーツを楽しむ機会の充実	概ね順調	推進方策指標2指標の達成度が、「A」が1指標、「D」が1指標であり、構成する事務事業も概ね順調に取り組まれていることから、「概ね順調」と判断しました。
⑤ 障がい者スポーツへの参加機会の充実	概ね順調	推進方策指標2指標の達成度が、「A」が1指標、「C」が1指標であり、構成する事務事業も概ね順調に取り組まれていることから、「概ね順調」と判断しました。
⑥ 岩手発の「超人スポーツ」の創出等によるスポーツ参加機会の拡大	順調	推進方策指標2指標の達成度が、「A」が2指標であり、構成する事務事業も順調に取り組まれていることから、「順調」と判断しました。

- 文化芸術活動を発表・鑑賞する機会を確保するため、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、岩手芸術祭、芸術体験イベント等を継続開催しています。
- 新型コロナウイルス感染症の影響で、中止・延期を余儀なくされている文化芸術活動の継続・再開の支援に取り組んでいます。
- 「コミックいわて」を通じ、より多くの読者に岩手の魅力を発信するため、オンラインでの定期的な新作の配信、単行本の発行、SNSでの情報発信等に取り組んでいます。
- いわてネクストジェネレーションフォーラムの開催をはじめ、いわて若者カフェやいわて若者交流ポータルサイト（コネクサス）の運営、若者団体自らが実施する事業への助成などを通じて、若者の交流やネットワークの拡大を図り、若者の活動の活性化に取り組んでいます。
- 障がい者文化芸術祭・音楽祭やアール・ブリュット巡回展を開催するとともに、障がい者芸術活動支援センター「かだあると」を中核とした創作活動に関する相談対応や創作活動を身近で支える人材育成等に取り組んでいます。
- 県民が心身ともに健康的に暮らせるよう、身近な地域でスポーツ活動ができる総合型地域スポーツクラブの活性化などを通じて、若年期から高齢期までのライフステージに応じたスポーツを楽しむ機会の充実に取り組んでいます。
- コロナ禍においても、県民が安心してスポーツを楽しめる場を提供するため、県営スポーツ施設のトイレの洋式化や空調設備の整備に取り組むとともに、各施設や競技団体のガイドラインに沿った新型コロナウイルス感染対策を徹底するなど、ハード・ソフト両面から取り組んでいます。
- 県民がスポーツを楽しむ場を提供するため、県内のスポーツ施設の現状や県と市町村との役割分担、県民のニーズなどを踏まえ、県営スポーツ施設の適切な維持管理や修繕、更新等を実施しています。

- 障がい者スポーツの一層の推進を図るため、障がいのある人もない人も共に楽しむスポーツ教室や大会の開催などを通じて、障がい者のスポーツへの参加機会の充実や障がい者スポーツの理解促進に取り組んでいます。
- 障がい者のスポーツ教室や大会等の開催に当たっては、国のガイドライン等に基づき、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら実施しています。

(1) 県民が日常的に文化芸術に親しむ機会の充実

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
47 岩手芸術祭参加者数〔累計〕	人	25,191	93,000	49,000	41,796	B
48 「岩手県文化芸術コーディネーター」の活動件数〔累計〕	件	402	1,650	815	1,196	A
49 県立文化施設(県民会館、県立博物館、県立美術館)利用者数	人	②438,274	462,500	453,500	188,966	D

【特記事項】

- ・ 県立文化施設(県民会館、県立博物館、県立美術館)利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一時休館や、公演等の中止が相次いだため、達成度は【D】となりました。なお、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症対策として、サーモグラフィカメラなどを配備し、利用者が安全安心に施設利用できるよう環境整備を行いました。

◆推進方策を構成する事業の状況

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
11	790	784	3	51	0	730	5 (63%)	0 (0%)	1 (12%)	2 (25%)	1 (12%)	3 (38%)	1 (12%)	3 (38%)

(2) 文化をめぐる新しい動向に対応した取組の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
50 コミックいわてWEB訪問者数	人	177,163	196,000	190,000	156,219	D
51 若者文化祭等の若者関連文化イベント来場者数〔累計〕	人	7,498	24,000	13,000	7,264	D

【特記事項】

- ・ コミックいわてWEB訪問者数は、大型イベントの中止に伴うPR機会の減少等により、読者の関心を高めることができなかつたため伸び悩み、達成度は【D】となりました。なお、令和2年度においては、新規マンガ(16作品)、翻訳版マンガ(英語版10作品、中国語版3作品)の掲載や、SNS等による情報発信を行いました。
- ・ 若者文化祭等の若者関連文化イベント来場者数〔累計〕は、新型コロナウイルス感染症の影響により、来場者数を制限して開催したため、達成度は【D】となりました。なお、令和2年度においては、感染拡大を防止する観点から、いわてネクストジェネレーションフォーラムなどのイベントについて、来場による参加に加え、オンライン参加が可能な形態で開催しました(オンラインでの参加者数を含めた参加者数〔累計〕は13,349人)。

◆推進方策を構成する事業の状況

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
3	48	46	13	0	0	33	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (67%)	0 (0%)	1 (33%)

(3) 障がい者の文化芸術活動の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
52 岩手県障がい者文化芸術祭出展数〔累計〕	件	㊦312	1,290	635	701	A
53 岩手県障がい者音楽祭参加団体数	団体	㊦14	18	16	—	—

【特記事項】

- ・ 岩手県障がい者音楽祭参加団体数は、新型コロナウイルス感染症の影響により、音楽祭を中止したため、実績値は測定できませんでした。なお、令和2年度においては、音楽祭の代替として、県内の障がい福祉事業所等から募集した9団体の合唱等の動画をWEB上で公開し、障がい者の文化芸術活動の機会の提供に取り組みました。

◆推進方策を構成する事業の状況

事業数	投入コスト(百万円)		決算額の財源内訳				活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
2	17	17	5	0	0	12	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (67%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (33%)

(4) ライフステージに応じたスポーツを楽しむ機会の充実

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
54 総合型地域スポーツクラブ会員数(地区全戸加入を除く)	人	㊦11,628	12,500	12,060	12,954	A
55 県営スポーツ施設の利用者数	万人	112	120	116	61	D

【特記事項】

- ・ 県営スポーツ施設の利用者数は、新型コロナウイルス感染症による一時休館や各種大会等の中止、無観客試合等の影響で達成度は【D】となりました。なお、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症対策として、消毒液等の配備や、県営武道館等の空調設備の改修、オンライン観戦に必要な備品の整備を行い、利用者が安全安心に施設利用できるよう環境整備を行いました。

◆推進方策を構成する事業の状況

事業数	投入コスト(百万円)		決算額の財源内訳				活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
4	36	33	0	2	0	31	1 (20%)	2 (40%)	1 (20%)	1 (20%)	2 (40%)	1 (20%)	1 (20%)	1 (20%)

(5) 障がい者スポーツへの参加機会の充実

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
56 障がい者スポーツの教室・大会の参加人数〔累計〕	人	2,954	12,640	6,200	4,326	C
57 障がい者の受入・活動支援を行うスポーツ関係団体数〔累計〕	団体	308	20	14	17	A

【特記事項】

- 障がい者スポーツの教室・大会の参加人数〔累計〕は、新型コロナウイルス感染症の影響により、県障がい者スポーツ大会や、各種教室が中止となったため達成度は【C】となりました。なお、令和2年度は県障がい者スポーツ大会の代替大会に2,597人が参加し、障がい者のスポーツへの参画機会の確保に取り組みました。

◆推進方策を構成する事業の状況

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
3	27	26	4	0	0	22	1 (33%)	1 (33%)	0 (0%)	1 (33%)	1 (33%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (67%)

(6) 岩手発の「超人スポーツ」の創出等によるスポーツ参加機会の拡大

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
58 超人スポーツワークショップ参加者数〔累計〕	人	69	280	140	237	A
59 超人スポーツオープンセミナー参加者数〔累計〕	人	3040	260	110	212	A

◆推進方策を構成する事業の状況

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
1	3	2	0	0	0	2	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

4 幅広い分野の文化芸術に親しみ、生涯を通じてスポーツを楽しむ機会を広げます

課 題	今後の方向
<具体的推進方策①> 県民が日常的に文化芸術に親しむ機会の充実	
<p>新型コロナウイルスの影響による休館や利用制限等に伴い、県内の公立文化施設における公演等の催事数が減少していることから、県民が日常的に文化芸術に親しむ機会を充実させるため、誰もが身近な場所で文化芸術を鑑賞・発表できる機会を一層確保していく必要があります。</p> <p>また、コロナ禍にあっても、デジタル技術を活用し、コロナ禍に対応した文化芸術に親しむ機会を確保する必要があります。</p>	<p>文化施設等における新型コロナウイルス感染症対策を徹底するとともに、オンライン配信なども活用しながら、岩手芸術祭総合フェスティバル、芸術体験イベント等を開催します。</p> <p>また、芸術作品など文化資源のWEB掲載等により、文化芸術の鑑賞・発表機会の確保に取り組みます。</p>
<具体的推進方策②> 文化をめぐる新しい動向に対応した取組の推進	
<p>コミックいわてWEBを通じて岩手の魅力を発信するため、より広く周知していく必要があります。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響により、若者の活動発表の機会が減少していることから、その受け皿を確保する必要があります。</p>	<p>著名漫画家作品の掲載や電子書籍化に取り組みます。また、コミックいわてのPR動画を作成・配信するなど広報の強化に取り組みます。</p> <p>また、コロナ禍に対応した「いわてネクストジェネレーションフォーラム」など若者の活動発表と交流機会を提供するとともに、若者の個性と創造性を生かした文化活動の支援に取り組みます。</p>
<具体的推進方策③> 障がい者の文化芸術活動の推進	
<p>障がい者の文化芸術活動の活性化を図るため、障がい者芸術の認知度向上や障がい者の創作意欲の醸成を図る必要があります。</p>	<p>文化芸術活動に取り組む障がい者やその家族等を支援する障がい者芸術活動支援センターの活用促進を図り、障がい者が伸び伸びと安心して活動ができるよう支援するとともに、アール・ブリュット巡回展を通じて、障がい者芸術に触れる機会の充実に取り組みます。</p>
<具体的推進方策④> ライフステージに応じたスポーツを楽しむ機会の充実	
<p>成人の週1回以上のスポーツ実施率は、順調に推移していますが、40代の実施率は他の年代と比べると低い傾向にあることから、年代に応じたスポーツを楽しむ環境づくりを進める必要があります。</p> <p>地域子どもたちのスポーツ活動を広げる受け皿として、総合型地域スポーツクラブ等の充実を図る必要があります。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響による各大会の中止や、施設の休館等により、県営スポーツ施設の利用者数が減少していることから、県民が安心してスポーツを楽しむ環境の整備を図る必要があります。</p> <p>県営スポーツ施設の利用予約方法は、施設によって取扱いが異なっており、利便性向上に向けた取組が必要です。</p>	<p>総合型地域スポーツクラブの活動活性化などを通じて、身近な地域でスポーツ活動を実施できる環境の整備に取り組むとともに、夜間や週末におけるスポーツ教室の開催など、各年代がスポーツを楽しむ機会の充実に取り組みます。</p> <p>総合型地域スポーツクラブの充実を図るため、指導者の育成や、学校部活動の地域移行に向けたモデル事業などに取り組みます。</p> <p>施設における新型コロナウイルス感染症対策の徹底や、ホームページやSNS等を活用した施設やイベント等の情報発信を行うとともに、オンライン配信に取り組みます。</p> <p>スポーツ施設利用者がより便利に利用予約できるよう、スマートフォン等で施設予約が可能な仕組みの構築を検討します。</p>
<具体的推進方策⑤> 障がい者スポーツへの参加機会の充実	
<p>身近な地域で自らの興味・関心・適性等に応じて、障がいのある人もない人も共にスポーツを楽しむ、交流を図る機会を充実させる必要があります。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響により、障がい者のスポーツ大会やスポーツ教室等の参加者数が減少していることから、コロナ禍に対応しながら実施する必要があります。</p>	<p>障がいのある人もない人も共に楽しめる機会を提供するため、競技団体等と連携したスポーツ体験会やスポーツ教室等を実施していきます。</p> <p>また、スポーツ教室等の開催に当たっては、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら実施するほか、ホームページやSNS等によりスポーツ教室等の認知度向上と参加者の増加に取り組みます。</p>

課 題	今後の方向
<具体的推進方策⑥>岩手発の「超人スポーツ」の創出等によるスポーツ参加機会の拡大	
年齢や身体能力、障がいの有無等に関わらずスポーツに取り組める「超人スポーツ」の普及等を通じ、県民がスポーツに参加する機会を増やしていく必要があります。	オープンセミナーの開催等を通じ、「超人スポーツ」の認知度向上を図り、年齢や身体能力、障がいの有無等に関わらず、共に楽しめるスポーツへの参加機会の拡大に取り組みます。
総 括	
<p>以上のことから、文化芸術に親しむ機会を拡大するため、誰もが身近な場所で手軽に文化芸術活動を発表・鑑賞できる機会の充実を図る必要があることから、コロナ禍に対応した文化芸術イベントや、アール・ブリュット巡回展等の開催に取り組みます。</p> <p>また、県民誰もが健康的に暮らし、年齢や身体能力、障がいの有無等に関わらず身近な地域でスポーツを楽しむ機会の充実を図るため、競技団体や総合型地域スポーツクラブと連携し、コロナ禍に対応したスポーツ教室等の開催に取り組みます。</p>	
反映結果	
<新規事業の創設>	
<ul style="list-style-type: none"> ● 三陸防災復興プロジェクト2019を通じた文化交流を継続するとともに、国内外からの復興支援に対する感謝を伝えるため、「さんりく音楽交流促進事業費【再掲】(R4 予算 1,260 千円)」を創設し、「さんりく音楽祭」の開催による音楽を通じた交流機会の確保に取り組みます。 ● 世界的なヴァイオリニスト、故イヴリー・ギトリス氏と本県との復興支援を通じた交流の記録を後世に伝えていくため、「いわての文化国際交流推進事業費(復興コンサートアーカイブ発信事業費)(R4 予算 941 千円)」を創設し、本県での演奏活動の映像等のデジタルアーカイブ^{*1}に取り組みます。 ● 国内外に本県の魅力を発信するため、「いわての文化国際交流推進事業費(いわての文化国際交流推進事業費)(R4 予算 6,509 千円)」を創設し、本県の文化資源を生かした映像による情報発信に取り組みます。 ● 県民会館・公会堂の利用者の利便性向上を図るため、「文化施設DX利用促進事業費(R4 予算 1,196 千円)」を創設し、スマートフォン等による施設予約システムの開発に取り組みます。 ● 県営スポーツ施設の利用者の利便性向上を図るため、「スポーツ施設DX利用促進事業費(R4 予算 2,914 千円)」を創設し、スマートフォン等による施設予約システムの開発に取り組みます。 ● 障がいの有無等に関わらず、誰もがスポーツを楽しむ機会を確保するため、「インクルーシブスポーツ^{*2}推進事業費(R4 予算 2,136 千円)」を創設し、指導者の育成、競技体験会、交流大会などに取り組みます。 	
<既存事業の拡充>	
<ul style="list-style-type: none"> ● 障がい者等の創作意欲の醸成を図り、県民の障がい者芸術に対する関心を高めるため、「いわてアール・ブリュット魅力発信事業費(R4 予算 6,451 千円)」を拡充し、アール・ブリュット巡回展を開催するとともに、新たに、作家のインタビュー動画の制作や、企業等と連携した首都圏での作品展示に取り組みます。 	
<その他取組の改善強化等>	
<ul style="list-style-type: none"> ● コロナ禍においても、県民の文化芸術活動の発表・鑑賞の機会を確保するため、「岩手芸術祭」など文化芸術イベントを開催し、併せてオンライン配信に取り組みます。 ● 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている県内の文化芸術団体等の活動を促進するため、活動の継続・再開や感染予防対策に要する経費の支援に取り組みます。 ● マンガ等を活用して本県の魅力を発信するため、コミックいわて作品の充実を図るとともに、読者の増加に向けて、電子書籍化等に取り組みます。 ● 若者の主体的な活動を支援するため、いわてネクストジェネレーションフォーラムでは、オンラインを併用し、岩手で活躍する若者の活動内容の発信に取り組みます。また、イベント等の文化芸術活動を行う若者への支援に引き続き取り組みます。 ● 障がい者の文化芸術活動の活性化を図るため、障がい者芸術活動支援センターによる創作活動等の支援や、創作活動を支援する人材の育成、障がい者文化芸術祭の開催等に取り組みます。 ● ライフステージに応じてスポーツを楽しむよう、各種スポーツ教室の開催や施設開放、企業等へ健康づくりの指導者派遣を行うなど、年代に応じた運動機会の確保に取り組みます。 ● スポーツを楽しむ環境を整備するため、盛岡市と共同で盛岡南公園野球場(仮称)の整備を推進します。 ● 国が示す、中学校における休日の部活動の段階的な地域移行を促進するため、「地域部活動推進実践研究事業費(R4 予算 9,421 千円)」により、中学生スポーツ・文化活動に係る研究会においてまとめられた提言 	

を踏まえ、地域移行に向けたモデル事業等を引き続き推進します。

- 総合型地域スポーツクラブ等の運営体制の強化を図るため、運営・指導に係る資格の取得支援を通じて人材育成に取り組みます。
- 県営スポーツ施設を安心して利用できるよう、新型コロナウイルス感染症対策を講じるとともに、県民がスポーツ大会を観戦する機会を確保するため、スポーツ大会のオンライン配信等に取り組みます。
- これまで考案された「超人スポーツ」を県内に定着させるため、民間団体と連携し、ワークショップやオープンセミナーの開催に取り組みます。

【用語解説】

- ※1 デジタルアーカイブ
デジタル化したうえで保存し、公開すること
- ※2 インクルーシブスポーツ
障がいの有無や程度にかかわらず多様な人々が共に実施できるスポーツ

19 文化芸術・スポーツを担う人材を育てます

（基本方向）

文化芸術を担う人材を育てるため、一流の文化芸術に触れる機会の提供や意欲的な創作活動等を後押しするとともに、障がい者の文化芸術活動を推進します。

また、スポーツを担う人材を育てるため、アスリート、障がい者アスリートの各種競技大会や強化合宿への参加を支援するとともに、スポーツ活動を支える指導者等の養成、スポーツ医・科学サポートを推進します。

【評価結果の概要】

政策項目が属する政策分野の評価結果	この政策項目の評価	
	評価結果	評価理由
B	概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> 政策項目に関連するいわて幸福関連指標2指標は、実績値が未確定等なため、達成度は測定できませんでした。 6つの具体的な推進方策の評価結果は、概ね順調が5つ、やや遅れが1つとなっており、全体として「概ね順調」との評価結果でした。 小・中学校等では、一流の文化芸術に触れる機会や自らが発表する場の確保に積極的に取り組んでいます。 <p>◎以上の結果から、「概ね順調」と判断しました。</p>

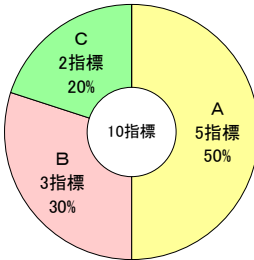
1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度	参考) 全国順位 (東北順位)		
							H29	R2	比較
34 将来の夢や目標を持って	%	小 ㊸86.5	88.0	87.0	—	—	—	—	—
35 いる児童生徒の割合		中 ㊸73.2	76.0	74.5	—	—	—	—	—

【特記事項】

- 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国学力・学習状況調査が中止となったため、小学生、中学生ともに実績値は測定できませんでした。なお、令和2年度においては、地域の良さを知るとともに、自己の将来を考える機会とするため、企業訪問や地域を調べる学習などに取り組みました。

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

県の取組の評価結果	参考)具体的推進方策指標の達成度 
概ね順調	
（評価結果の説明） 6の推進方策のうち「概ね順調」が5つ、「やや遅れ」が1つとなっていることから、「概ね順調」と判断しました。	

具体的推進方策	取組状況	説明
① 文化芸術活動を担う人材の育成	概ね順調	推進方策指標2指標の達成度が、「B」が2指標であり、構成する事務事業も概ね順調に取り組まれていることから、「概ね順調」と判断しました。
② 文化芸術活動を支える人材の育成	概ね順調	推進方策指標2指標の達成度が、「A」が1指標、「C」が1指標であり、構成する事務事業も概ね順調に取り組まれていることから、「概ね順調」と判断しました。
③ アスリートの競技力の向上	やや遅れ	推進方策指標2指標の達成度が、「B」が1指標、未確定等が1指標であり、構成する事務事業に遅れがみられることから、「やや遅れ」と判断しました。
④ 障がい者アスリートの競技力の向上	概ね順調	推進方策指標2指標の達成度が、「A」が1指標、未確定等が1指標であり、構成する事務事業も概ね順調に取り組まれていることから、「概ね順調」と判断しました。
⑤ スポーツ医・科学サポートを通じた競技力の向上	概ね順調	推進方策指標2指標の達成度が、「A」が2指標であり、構成する事務事業も概ね順調に取り組まれていることから、「概ね順調」と判断しました。
⑥ スポーツ活動を支える指導者等の養成	概ね順調	推進方策指標3指標の達成度が、「A」が1指標、「C」が1指標、未確定等が1指標であり、構成する事務事業も概ね順調に取り組まれていることから、「概ね順調」と判断しました。

- 子どもたちに優れた文化芸術に触れる機会を提供するため、学校等への芸術家派遣等を実施しています。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、学校における芸術鑑賞が中止や延期となっていますが、主催者や学校と連携を図りながら、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、開催に向けて取り組んでいます。
- 地域の文化芸術を支える人材を育成するため、公立文化施設関係者等のニーズを踏まえた専門研修を企画・実施しています。
- 福祉事業所の職員等を対象とした障がい者の文化芸術活動に係る支援のあり方に関する研修会やワークショップ等を開催しています。
- 本県選手の競技力の維持・向上に向けて、県体育協会に無料職業紹介所「岩手スポーツアスリート無料職業紹介所」を開設し、県内就職を希望するアスリートの発掘と、雇用企業を開拓するとともに、トップアスリートの県内就職に向けた取組を推進しています。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、全国規模の大会及び中央競技団体による国際大会への派遣が中止されていますが、本県の競技力向上に向けて、県体育協会を通じてアスリートに対する強化練習等の支援に取り組んでいます。
- 障がい者トップアスリートの活動を支援するため、強化選手を指定し県外遠征や強化事業などの経費を支援するとともに、パフォーマンス向上につながる競技用具の整備を行っています。
- 競技別のガイドラインに基づいた新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、強化練習を実施するとともに、スポーツ医・科学、情報産業分野の有識者による動作分析や体力測定等データの有効活用に向けた検討を重ね、効果的で効率的なコーチングに取り組んでいます。

- 競技団体の専門的な指導に対応できるトレーナーの養成とともに、女性トレーナーによる女性アスリートへのサポート体制の充実が必要なことから、アスリートの育成や活動を支えるサポート人材「いわてアスレティックトレーナー」の養成に取り組んでいます。
- 国体監督の条件となる競技別指導者資格取得の支援を行うとともに、女性アスリートの指導者を対象としたスポーツ医・科学研修会を開催し、指導者の資質の向上に取り組んでいます。

(1) 文化芸術活動を担う人材の育成

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
222 岩手芸術祭への出展数[累計]	件	1,341	5,430	2,700	2,426	B
223 子どものための芸術家派遣事業公演数[累計][再掲]	件	63	266	131	115	B

◆推進方策を構成する事業の状況

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
5	19	19	0	0	0	19	2 (67%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (33%)	1 (33%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (67%)

(2) 文化芸術活動を支える人材の育成

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
224 アートマネジメント研修参加者数[累計]	人	42	160	80	57	C
225 障がい者文化芸術活動支援者育成研修受講者数[累計]	人	41	160	80	138	A

【特記事項】

- ・ アートマネジメント研修参加者数〔累計〕は、新型コロナウイルス感染症の影響による移動や外出の自粛等のため、研修会の参加者数が減少し、達成度は【C】となりました。なお、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症対策として、会場での出席のほか、オンラインを併用し、16人が参加しました。

◆推進方策を構成する事業の状況

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
3	36	36	5	0	0	31	4 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (25%)	1 (25%)	1 (25%)	1 (25%)

(3) アスリートの競技力の向上

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
226 国民体育大会天皇杯順位	位	⑩東北1位	東北1位	東北1位	—	—
227 本県関係選手の日本代表選出数〔累計〕	人	40	112	56	45	B

【特記事項】

- 国民体育大会天皇杯順位は、新型コロナウイルス感染症の影響で、国民体育大会（鹿児島県）が延期となったため、実績値は測定できませんでした。なお、令和2年度においては、アスリートの競技力向上のため、県外遠征等の活動費を支援したほか、「岩手スポーツアスリート無料職業紹介所」を設置し、アスリートの県内定着に向けた就職マッチング等に取り組みました。

◆推進方策を構成する事業の状況

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
6	153	120	0	0	0	120	1 (17%)	1 (17%)	1 (17%)	3 (50%)	0 (0%)	2 (40%)	0 (0%)	3 (60%)

(4) 障がい者アスリートの競技力の向上

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
228 障がい者アスリートの育成研修会参加選手数〔累計〕	人	14	84	38	72	A
229 ジャパンパラ競技大会出場選手数〔累計〕	人	7	30	14	—	—

【特記事項】

- ジャパンパラ競技大会出場選手数〔累計〕は、新型コロナウイルス感染症の影響で、ジャパンパラ競技大会（陸上競技、水泳競技）が中止となったことにより、実績値は測定できませんでした。なお、令和2年度においては、障がい者トップアスリートの競技力向上のため、強化選手を指定し、遠征や強化練習等の経費を支援しました。

◆推進方策を構成する事業の状況

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
2	13	7	0	1	0	6	5 (83%)	1 (17%)	0 (0%)	0 (0%)	4 (66%)	1 (17%)	0 (0%)	1 (17%)

(5) スポーツ医・科学サポートを通じた競技力の向上

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
230 スポーツ医・科学サポート団体数〔累計〕	団体	90	382	185	186	A
231 アスレティックトレーナー等登録者数	人	90	114	93	96	A

◆推進方策を構成する事業の状況

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
1	18	15	0	1	0	14	3 (75%)	1 (25%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (25%)	1 (25%)	2 (50%)	0 (0%)

(6) スポーツ活動を支える指導者等の養成

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
232 公認スポーツ指導者資格登録者数	人	⑩2,701	2,850	2,775	2,927	A
233 公認障がい者スポーツ指導者資格登録者数	人	225	300	270	257	C
234 スポーツ推進委員研修会参加率	%	⑩43.6	50.0	50.0	—	—

【特記事項】

- 公認障がい者スポーツ指導者資格登録者数は、新型コロナウイルス感染症の影響による移動や外出自粛等のため、障がい者スポーツ指導員養成講習会の参加者数が減少し、公認障がい者スポーツ指導者資格登録者数の増加に繋がらず、達成度は【C】となりました。なお、令和2年度においては、感染症対策を講じながら講習会を実施するとともに、参加者増加に向けてホームページやSNSを活用した情報発信に取り組みました。
- スポーツ推進委員研修会参加率は、新型コロナウイルス感染症の影響で、研修会を開催出来なかったため、実績値は測定できませんでした。なお、令和2年度はスポーツを支える人材を育成するため、「いわてアスレティックトレーナー」の養成に取り組みました。

◆推進方策を構成する事業の状況

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
4	149	124	3	0	0	121	3 (38%)	3 (38%)	1 (12%)	1 (12%)	5 (63%)	1 (12%)	0 (0%)	2 (25%)

19 文化芸術・スポーツを担う人材を育てます

課 題	今後の方向
<具体的推進方策①>文化芸術活動を担う人材の育成	
<p>文化芸術活動を担う人材を育成していくためには、子どもたちをはじめ広く県民が文化芸術に対する興味関心を高め、活動につなげていくことが重要であり、幼少期から優れた文化芸術に触れる機会を提供することや誰もが文化芸術活動に取り組める環境を充実させる必要があります。</p>	<p>学校等への芸術家の派遣や、国際的な音楽家との交流機会の創出など、優れた文化芸術に触れる機会を提供するほか、本県ゆかりの作家を活用した県民の文芸活動の支援に取り組みます。</p> <p>また、芸術体験イベントなどにより誰もが気軽に文化芸術を体験できる場の提供に取り組みます。</p>
<具体的推進方策②>文化芸術活動を支える人材の育成	
<p>県民が積極的に文化芸術活動を行える環境づくりを推進するため、県内各地域において、活動を支える人材の育成を図ることが重要です。</p> <p>また、障がい者が安心して創作活動に取り組む環境づくりを推進するため、施設・事業所の文化芸術活動を支援する職員等が、作家の権利保護や創作活動支援の手法について理解を深めるよう取り組む必要があります。</p>	<p>官民一体による文化芸術推進体制の構築により、本県の特徴・強みを生かした取組の企画や、文化芸術活動の支援の強化を図ります。</p> <p>また、障がい者の文化芸術活動に取り組む福祉事業等を対象とした研修会等を開催し、障がい者芸術活動の理解促進や権利保護に取り組みます。</p>
<具体的推進方策③>アスリートの競技力の向上	
<p>国際大会等で活躍するトップアスリートを育成するためには、日本スポーツ協会等と連携し、中長期的な視点に立った育成や、日本代表や全国で上位入賞を目指す選手に対する支援などに継続的に取り組む必要があります。</p> <p>また、スーパーキッズ発掘・育成事業が、各競技団体の拠点が集中する内陸部に偏在しているため、遠隔地の受講生の移動の負担を減らす必要があります。</p>	<p>引き続き、日本代表クラスのトップアスリートや、日本代表入りの可能性を持つ全国大会入賞レベルのアスリートの活動経費を支援するとともに、県体育協会内に設置した「岩手スポーツアスリート無料職業紹介所」により、県内就職を希望するアスリートの発掘と雇用企業の開拓に取り組みます。</p> <p>また、スーパーキッズ受講生へのタブレット貸与による遠隔指導システムの構築に取り組みます。</p>
<具体的推進方策④>障がい者アスリートの競技力の向上	
<p>障がい者アスリートの発掘・育成を推進するために、冬季種目を含めた幅広い競技を体験し、選手個々の能力の適性を見極め、競技選択や競技力向上に繋げていく必要があります。</p> <p>また、スポーツ医・科学に裏付けられた専門的指導を受ける機会の充実を図る必要があります。</p>	<p>関係競技団体と連携し、陸上競技、卓球、水泳、サッカーなど比較的取り組みやすい種目の競技研修や、スポーツ栄養・スポーツメンタルの研修を実施するなど、障がい者アスリートの発掘・育成に取り組みます。</p> <p>また、障がい者アスリートへのスポーツ医・科学サポートを実施し、競技力向上を図るとともに、最新の競技用具の導入による各種大会での成績向上に取り組みます。</p>
<具体的推進方策⑤>スポーツ医・科学サポートを通じた競技力の向上	
<p>アスリートの効果的な競技力の向上を図るため、スポーツ医・科学の知識と技術に基づき、測定データ等を活用した指導が求められます。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響により、アスリートに対するトレーナーによるサポートや、スポーツ医・科学の知見を有する講師による講習など、対面での事業実施が難しい状況であることから、コロナ禍に対応したプログラムを提供する必要があります。</p>	<p>スポーツ医・科学の有識者やスポーツ指導者等によるデータ活用ワーキンググループにおいて、指導現場における動作分析や体力測定等によるデータの効果的な活用方法の検討に取り組みます。</p> <p>また、アスリートを含む幅広い年代を対象として、一人でも手軽に効果的なトレーニングに取り組めるよう、スポーツ医・科学の知見を取り入れた運動プログラム動画「レッツ！ぺっこトレ！！」の定期的な配信に取り組みます。</p>
<具体的推進方策⑥>スポーツ活動を支える指導者等の養成	
<p>選手・指導者の知識・技術の底上げを図るため、アスリートや障がい者アスリートを支える人材の育成、スポーツ医・科学の知見を活用したアスリートを支える環境整備などに取り組む必要があります。</p>	<p>アスリートを支える人材として養成してきた「いわてアスレティックトレーナー」第3期生を活用し、スポーツ医・科学の知見によるアスリート支援環境の充実を図るとともに、女性トレーナーによるサポート活</p>

<p>また、女性アスリートの活躍のため、女性特有の健康問題に関する正しい知識を有する指導者を育成する必要があります。</p> <p>さらに、新型コロナウイルス感染症の影響による講習会参加者数の減少により、公認障がい者スポーツ指導者資格登録者数が伸び悩んでいることから、安心して受講できる環境の整備や、資格登録に向けた積極的な周知に取り組む必要があります。</p>	<p>動の充実に取り組みます。</p> <p>また、女性特有の健康問題に関する講習会を開催し、女性アスリートが安心して競技を継続できる環境の整備に取り組みます。</p> <p>さらに、障がい者スポーツ指導員養成講習会の開催に当たっては、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、情報発信を強化するなど、養成講習会の参加者数の増加に取り組みます。</p>
---	--

総括

以上のことから、文化芸術を担う人材を育てるため、学校等への芸術家の派遣などを通じ、継続して優れた文化芸術に触れる機会を提供していくとともに、本県の特徴・強みを生かした取組の企画や、文化芸術活動の支援の強化により県内各地域の文化芸術を支える人材の育成に取り組みます。

また、スポーツを担う人材を育てるため、優れた指導環境による中長期的な視点に立った育成とスポーツ医・科学の知見を活用した競技力の向上に向けた取組や、女性アスリートや障がい者アスリートが継続して競技に取り組むことができる環境整備を行うとともに、スーパーキッズ受講生への遠隔指導システムを活用した育成プログラムに取り組みます。

反映結果

<新規事業の創設>

- 文化芸術の力を一層発揮するための環境づくりと人的・経済的交流の推進を図るため、「いわてアーツコンソーシアム推進事業費（R4 予算 8,017 千円）」を創設し、官民一体による文化芸術推進体制「いわてアーツコンソーシアム」の構築に取り組みます。
- 最新の技術を活用した競技力向上を図るため、「スポーツアナリティクスサポート事業費（R4 予算 8,255 千円）」を創設し、日本代表等で採用されている映像分析ソフトウェアの導入により、映像データに基づいた効率的かつ効果的な指導の普及に取り組みます。

<既存事業の拡充>

- アスリートの県内定着を図るため、「いわて競技力向上事業費（R4 予算 130,655 千円）」を拡充し、「岩手スポーツアスリート無料職業紹介所」に雇用支援員を新たに配置し、企業向け合同説明会の開催や、企業への個別訪問を通じて、アスリートの県内就職の支援に取り組みます。

<その他取組の改善強化等>

- 子どもたちの文化芸術に対する関心を高めるため、市町村等と連携して、県内各地の学校や公立文化施設に優れた芸術家を派遣するなど、児童生徒が文化芸術に触れる機会の確保に取り組みます。
- 地域の文化芸術の振興及び次代の文化芸術を担う人材を育成するため、著名な音楽家による演奏会の開催等により、優れた文化芸術に触れる機会の確保に取り組みます。
- 文芸活動の一層の振興を図るため、本県にゆかりのある作家による講演会や、作家と高校生などとの文学交流会の開催等により、県民の文芸活動の支援に取り組みます。
- 文化芸術に親しむ機会を確保するため、文化芸術団体と連携して、文化芸術イベントの開催に取り組みます。
- 障がい者の文化芸術活動を支援する人材を育成するため、創作支援や権利保護に係る研修等の実施に取り組みます。
- 世界で活躍するトップアスリートの輩出に向けて、日本代表としてオリンピック等国際大会での活躍が期待されるアスリートに加え、国内大会で入賞経験のある潜在能力を持ったアスリートに対する活動経費の支援に取り組みます。
- デジタル技術を活用したスーパーキッズの受講環境の整備と、更なる運動能力向上のため、受講生へタブレットを貸与し、オンラインによるプログラム受講や、個々の特性に応じたトレーニングメニューの提供など、遠隔指導の実施に取り組みます。
- 障がい者アスリートの発掘・育成を図るため、強化指定選手に対する競技活動に要する経費を支援するとともに、体力測定や競技研修に取り組みます。
- 障がい者アスリートの競技力向上を図るため、アスリートに対するトレーナー派遣や最新競技用具の導入に取り組みます。
- スポーツ医・科学の知見に基づく県民の健康増進を図るため、運動プログラム動画「レッツ！ぺっこトレ！！」の配信によるトレーニングメニューの提供や、出前授業による健康づくり教室等の開催に取り組みます。

- アスリート支援の充実を図るため、いわてアスレティックトレーナーと競技団体のマッチングを進めるとともに、女性アスリートの健康問題に関する講習会などを開催し、指導者等の資質向上に取り組みます。
- 障がい者スポーツに係る指導者の増加を図るため、資格取得に向けた指導員養成講習会を新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で開催するとともに、SNSやホームページ等を活用し、資格取得のメリットや、講習会の参加募集等の情報発信の強化に取り組みます。



26 文化芸術・スポーツを生かした地域をつくります

（基本方向）

文化芸術を生かした地域活性化を図るため、岩手芸術祭をはじめとした文化イベントの開催などにより、人的・経済的な交流を推進します。

また、スポーツを生かした地域活性化を図るため、ラグビーワールドカップ 2019™や東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーを継承し、スポーツイベントの誘致・開催をはじめとしたスポーツツーリズムの拡充などを通じて、人的・経済的な交流の拡大に取り組みます。

【評価結果の概要】

政策項目が属する政策分野の評価結果	この政策項目の評価	
	評価結果	評価理由
C	遅れ	<ul style="list-style-type: none"> 政策項目に関連するいわて幸福関連指標 2 指標は、達成度 C、D の指標が 2 指標（100%）でした。 2 つの具体的な推進方策の評価結果は、概ね順調が 2 つとなっており、全体として「概ね順調」との評価結果でした。 新型コロナウイルス感染症の影響により、文化・スポーツ施設の一時休館等が相次ぎましたが、感染症対策を講じたイベントの開催や、オンライン配信を活用した取組が推進されています。 <p>◎以上の結果から、「遅れ」と判断しました。</p>

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度	参考) 全国順位 (東北順位)		
							H29	R2	比較
42 文化・スポーツ施設の入場者数(文化施設入場者数) ^{※1}	千人	168	③176	①172	①161	D	-	-	-
43 文化・スポーツ施設の入場者数(スポーツ施設入場者数) ^{※2}	万人	805	806	806	552	C	-	-	-

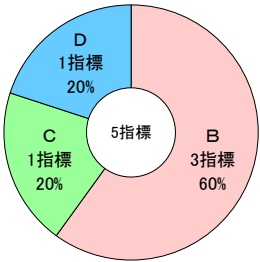
※1 岩手県内公立文化施設協議会加盟施設で行う自主催事入場者数

※2 県及び県内市町村の公立スポーツ・レクリエーション施設入場者数

【特記事項】

- 文化・スポーツ施設の入場者数（文化施設入場者数）は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一時休館や、公演等の中止が相次いだため、達成度は【D】となりました。なお、令和2年度においては、消毒液を設置するなどの感染症対策を行い、利用者が安全安心に施設利用できるよう環境整備を行いました。
- 文化・スポーツ施設の入場者数（スポーツ施設入場者数）は、新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツ大会やイベント等の中止が相次いだため、達成度は【C】となりました。なお、令和2年度においては、消毒液を設置するなどの感染症対策を行い、利用者が安全安心に施設利用できるよう環境整備を行いました。

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

県の取組の評価結果	概ね順調 
概ね順調	
（評価結果の説明） 2つの推進方策のうち「概ね順調」が2つとなっていることから、「概ね順調」と判断しました。	

具体的推進方策	取組状況	説明
① 文化芸術を生かした人的・経済的な交流の推進	概ね順調	推進方策指標3指標の達成度が、「B」が2指標、「D」が1指標であり、構成する事務事業も概ね順調に取り組まれていることから、「概ね順調」と判断しました。
② スポーツを生かした人的・経済的な交流の推進	概ね順調	推進方策指標2指標の達成度が、「B」が1指標、「C」が1指標であるが、構成する事務事業も概ね順調に取り組まれていることから、「概ね順調」と判断しました。

- 文化芸術を生かした国内外の交流を推進するため、「いわての文化情報大事典」ホームページの多言語化やSNSの情報発信強化などにより、コロナ禍に対応しながら広く県内外に民俗芸能等をはじめとした本県の文化芸術の魅力を発信しています。
- 岩手芸術祭や岩手芸術祭総合フェスティバルに取り組むほか、文化芸術コーディネーター等との連携による地域の文化芸術団体等の活動支援を進めています。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、多くのスポーツ大会・合宿・イベントが延期・中止されていますが、感染状況を踏まえながら、官民一体の連携組織である、いわてスポーツコミッションを中心に様々なスポーツ大会・合宿等の誘致に取り組んでいます。
- 県内トップ・プロスポーツチームと県民との一体感の醸成による地域活性化を図るため、各チームと連携し、スポーツ教室やイベント等の取組を進めています。
- 「ラグビー県いわて」の定着に向けて、釜石市や関係団体と連携し、釜石鶴住居復興スタジアムの利用促進を進めるとともに、昨年度に引き続き、「いわて・かまいしラグビーメモリアルイベント」を、新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえで開催しました。

(1) 文化芸術を生かした人的・経済的な交流の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
275 岩手芸術祭参加者数【累計】【再掲】	人	25,191	93,000	49,000	41,796	B
276 県立文化施設（県民会館、県立博物館、県立美術館）利用者数【再掲】	人	284,382,74	462,500	453,500	188,966	D
277 文化芸術関連SNSフォロワー数	人	4,500	5,900	5,300	5,273	B

【特記事項】

- 県立文化施設（県民会館、県立博物館、県立美術館）利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一時休館や、公演等の中止が相次いだため、達成度は【D】となりました。なお、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症対策として、サーモグラフィーカメラなどを配備し、利用者が安全安心に施設利用できるよう環境整備を行いました。

◆推進方策を構成する事業の状況

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
9	783	778	3	50	0	725	6 (86%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (14%)	1 (12%)	5 (63%)	0 (0%)	2 (25%)

(2) スポーツを生かした人的・経済的な交流の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
278 スポーツ大会・合宿・イベントの参加者数〔累計〕	人	130,000	594,000	310,000	227,814	C
279 県内トップ・プロスポーツチームによるスポーツ教室等の参加者数〔累計〕	人	3,771	15,500	7,690	6,810	B

【特記事項】

- ・ スポーツ大会・合宿・イベントの参加者数〔累計〕は、新型コロナウイルス感染症の影響により、合宿や、全国規模の大会、イベントの中止が相次いだことから、達成度は【C】となりました。なお、令和2年度においては、リモート開催による合宿相談会や、いわてスポーツコミッションHPを活用した県内のスポーツ施設の情報発信を行いました。

◆推進方策を構成する事業の状況

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
5	646	641	247	0	0	394	6 (86%)	1 (14%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (43%)	1 (14%)	2 (29%)	1 (14%)

26 文化芸術・スポーツを生かした地域をつくります

課 題	今後の方向
<p>＜具体的推進方策①＞文化芸術を生かした人的・経済的な交流の推進</p>	
<p>文化芸術を生かした地域活性化を図るため、三陸防災復興プロジェクト2019のレガシーを継承するとともに、コロナ禍に対応しながら、本県の文化芸術の魅力を広く県内外へ発信していく必要があります。</p>	<p>「いわての文化情報大事典」ホームページにより、民俗芸能等をはじめとした本県の文化芸術の魅力発信に取り組みます。</p> <p>さんりく音楽祭の開催などにより、県外の出演者と地元文化芸術団体との交流を継続しながら、つながりを深める取組を推進します。</p> <p>官民一体による文化芸術推進体制の構築により、文化芸術の力を一層発揮するための環境づくりと県内の特色ある文化芸術による地域づくりの支援に取り組みます。</p> <p>文化芸術活動に対する新型コロナウイルス感染症の影響について継続的に把握するとともに、コロナ禍に対応した活動の支援に取り組みます。</p>
<p>＜具体的推進方策②＞スポーツを生かした人的・経済的な交流の推進</p>	
<p>スポーツを生かした地域活性化を図るため、ラグビーワールドカップ2019 岩手・釜石開催や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした国内外との交流の継続や、スポーツ大会や合宿の誘致等によるスポーツツーリズムの拡充により、交流人口の拡大に取り組む必要があります。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツ大会・合宿等の参加者数が減少していることから、感染症対策の徹底のほか、コロナ禍においても実施可能な合宿誘致に取り組む必要があります。</p> <p>県内トップ・プロスポーツチームと連携して行うスポーツ教室等においては、参加者数が増加傾向にあるものの、認知度向上に向けた情報発信の強化等を継続して行う必要があります。</p> <p>スポーツマスターズや冬季国体等の大規模大会の成功に向けては、市町村等の関係機関と連携した受入体制を整備するとともに、マイルストーンイベント等の実施により、県民の関心を高め、大会成功に向けた機運の醸成が必要です。</p>	<p>ラグビーワールドカップ2019 岩手・釜石開催のレガシーを生かしたメモリアルイベントの開催や、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプの受入実績を生かした大会・合宿誘致など、交流人口の拡大に取り組みます。</p> <p>大会・合宿等の開催に当たっては、感染症対策を徹底するほか、過去に本県で合宿を実施したチームが、再度合宿を実施してもらえるよう、定期的なアプローチに取り組みます。</p> <p>トップ・プロスポーツチームと連携して行うスポーツ教室等においては、認知度向上を図るため、情報発信の強化に取り組みます。</p> <p>官民一体のスポーツ推進体制の構築により、スポーツの力を生かした健康社会の実現と地域づくりに取り組みます。</p> <p>日本スポーツマスターズ2022 岩手大会や特別国民体育大会冬季大会スキー競技会の成功に向けて、受入体制等の整備や、特設HP等による情報発信等を通じて、大会成功に向けた機運の醸成を図るとともに、聖火リレーボランティアを大規模大会での協働につなげるなど、広域的かつ持続可能な仕組みづくりに取り組みます。</p>
<p>総 括</p>	
<p>以上のことから、文化芸術やスポーツを生かした地域活性化を図るため、震災復興支援等による国内外のつながりを生かしたさんりく音楽祭などの文化イベントや、日本スポーツマスターズ2022 岩手大会や特別国民体育大会冬季大会スキー競技会などのスポーツイベントを開催するとともに、スポーツ大会や合宿の誘致などに取り組み、人的・経済的な交流を継続的に推進していきます。</p> <p>なお、文化スポーツ活動に対する新型コロナウイルス感染症の影響について、継続的に把握するとともに、活動の活性化に向けた支援策を講じます。</p>	
<p>反映結果</p>	
<p>＜新規事業の創設＞</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ● 三陸防災復興プロジェクト2019を通じた文化交流を継続するとともに、国内外からの復興支援に対する感謝を伝えるため、「さんりく音楽交流促進事業費（R4 予算 1,260 千円）」を創設し、「さんりく音楽祭」の開催による音楽を通じた交流機会の確保に取り組みます。 	

- 文化芸術の力を一層発揮するための環境づくりと人的・経済的交流の推進を図るため、「いわてアーツコンソーシアム推進事業費【再掲】(R4 予算 8,017 千円)」を創設し、官民一体による文化芸術推進体制「いわてアーツコンソーシアム」の構築に取り組みます。
- スポーツの力による健康社会の実現と人的・経済的交流の推進を図るため、「いわてスポーツプラットフォーム推進事業費 (R4 予算 5,275 千円)」を創設し、官民一体によるスポーツ推進体制「いわてスポーツプラットフォーム」の構築に取り組みます。

<その他取組の改善強化等>

- 本県の多様な文化芸術の魅力の普及を図るため、若者のアイデアも活用しながら、「いわての文化情報大事典」ホームページやSNSによる伝統文化等の国内外への情報発信に取り組みます。
- 文化芸術活動に対する新型コロナウイルス感染症の影響について継続的に把握するとともに、イベントのオンライン配信や、文化芸術団体等の活動に要する経費の支援に取り組みます。
- ラグビーワールドカップ 2019 岩手・釜石開催の経験を生かした人的・経済的交流を推進するため、県内トップチームとの連携等による「ラグビー県いわて」のPRに取り組みます。
- 国内トップクラスの施設である、県営運動公園スポーツクライミング施設を生かし、競技団体と連携して、国内大会に加え、国際大会の誘致に取り組みます。
- スポーツを通じた交流人口の拡大を図るため、地域の受入体制の整備や、競技団体と連携した中央競技団体への働きかけを通じて、スポーツ大会や合宿の誘致を推進するとともに、県内各地で行われているスポーツアクティビティの普及等に取り組みます。
- スポーツを通じた地域活性化を図るため、県内のトップ・プロスポーツチームと連携し、スポーツ教室等の開催や、県外試合会場での県産食材や世界遺産を含む観光等の情報発信に取り組みます。
- 日本スポーツマスターズ 2022 岩手大会や特別国民体育大会冬季大会スキー競技会の成功に向けて、受入体制等の整備や、マイルストーンイベントの開催などによる機運の醸成を図るとともに、聖火リレーボランティア等との協働につなげる仕組みづくりに取り組みます。

40 世界遺産の保存と活用を進めます

（基本方向）

世界遺産等の価値を共有し、広めるため、「北海道・北東北の縄文遺跡群（御所野遺跡）」の世界遺産への新規登録や「平泉の文化遺産」の世界遺産への拡張登録に向けた取組、保存管理計画に基づく適切な保存管理や県民の理解増進、県内外への情報発信などの取組を推進します。

また、世界遺産を活用した人的・文化的交流を図るため、世界遺産を核として、県内の関連文化遺産のネットワークを構築します。

【評価結果の概要】

政策項目が属する政策分野の評価結果	この政策項目の評価	
	評価結果	評価理由
C	概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> 政策項目に関連するいわて幸福関連指標2指標は、達成度Bの指標が1指標（50%）、達成度Dの指標が1指標（50%）でした。 4つの具体的推進方策の評価結果は、順調が2つ、概ね順調が1つ、遅れが1つとなっており、全体として「概ね順調」との評価結果でした。 北海道・北東北の縄文遺跡群（御所野遺跡）」が令和3年7月の世界遺産委員会で世界遺産に登録されたほか、「平泉の文化遺産」の世界遺産拡張登録に向けて、関係市町において遺跡の調査等が進められています。 <p>◎以上の結果から、「概ね順調」と判断しました。</p>

1 いわて幸福関連指標の状況

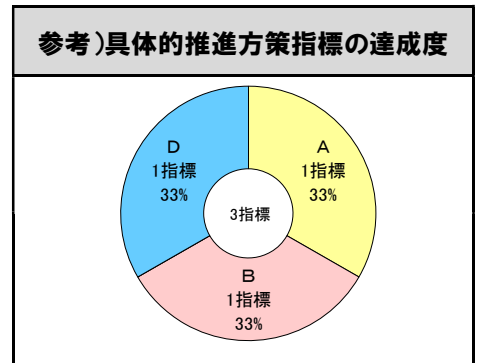
指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							H29	R2	比較
62 世界遺産等の来訪者数	千人	927	950	927	444	D	-	-	-
63 国、県指定文化財件数	件	③0565	581	573	572	B	31位 (3位)	31位 (3位)	横ばい (横ばい)

【特記事項】

- 世界遺産等の来訪者数は、新型コロナウイルス感染症の影響による移動や外出の自粛等のため、来訪者が減少し、達成度は【D】となりました。なお、令和2年度は感染症対策を講じながら、世界遺産等のフォーラムやシンポジウムを開催し、価値普及や、魅力発信に取り組みました。

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

県の取組の評価結果
概ね順調
（評価結果の説明） 4つの推進方策のうち「順調」が2つ、「概ね順調」が1つ、「遅れ」が1つとなっていることから、「概ね順調」と判断しました。



具体的推進方策	取組状況	説明
① 世界遺産の新規・拡張登録の推進	概ね順調	推進方策指標は設定されていないため、構成する事務事業が概ね順調に取り組まれていることから、「概ね順調」と判断しました。
② 世界遺産の理解の増進による遺産の適切な保存管理・活用の推進	順調	推進方策指標1指標の達成度が、「A」が1指標であり、構成する事務事業も概ね順調に取り組まれていることから、「順調」と判断しました。
③ 世界遺産の持つ新たな魅力の発信	順調	推進方策指標1指標の達成度が、「B」が1指標であり、構成する事務事業も順調に取り組まれていることから、「順調」と判断しました。
④ 世界遺産を活用した地域間交流の推進	遅れ	推進方策指標1指標の達成度が、「D」が1指標であり、構成する事務事業が概ね順調に取り組まれているものの、「遅れ」と判断しました。

- 「平泉の文化遺産」の世界遺産拡張登録に向けて、専門家等で構成する拡張登録検討委員会を開催しました。
- 世界遺産の理解を深めてもらうための児童・生徒への世界遺産授業や教員向け研修会を実施しています。
- 世界遺産に関連する文化遺産のネットワーク構築による情報発信などを実施しています。
- 国立大学法人岩手大学と県とは、平泉に係る共同研究を推進するための協定を締結し、世界遺産に関する研究に取り組んでいます。
- 「岩手県立平泉世界遺産ガイダンスセンター」を整備し、平泉の価値を広く伝え、「平泉の文化遺産」等の周遊に活用するとともに、平泉に関する学術研究等の総合的な情報発信に取り組みます

(1) 世界遺産の新規・拡張登録の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
-	-	-	-	-	-	-

◆推進方策を構成する事業の状況

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度 (全指標)				成果指標の達成度 (全指標)			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
3	15	11	0	1	0	10	2 (67%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (33%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (100%)

(2) 世界遺産の理解の増進による遺産の適切な保存管理・活用の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
435 「世界遺産授業」の受講者数〔累計〕	人	999	4,000	2,000	2,380	A

◆推進方策を構成する事業の状況

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
4	19	17	0	0	0	17	6 (76%)	0 (0%)	1 (12%)	1 (12%)	6 (76%)	1 (12%)	0 (0%)	1 (12%)

(3) 世界遺産の持つ新たな魅力の発信

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
436 講演会・フォーラム等参加者数〔累計〕	人	600	2,600	1,260	1,160	B

◆推進方策を構成する事業の状況

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
2	13	11	0	0	0	11	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (50%)	1 (50%)	0 (0%)	0 (0%)

(4) 世界遺産を活用した地域間交流の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
437 文化遺産ネットワーク構成資産数〔累計〕	箇所	0	10	5	0	D

【特記事項】

- 文化遺産ネットワーク構成資産数〔累計〕は、世界遺産を核とした文化遺産のネットワーク化に向け、関連する遺産の状況の調査や関係市町村や団体との協議を行ってまいりましたが、構成資産の特定や実施体制の構築に向けた市町村との調整に時間を要したため、達成度は【D】となりました。なお、令和2年度においては、製鉄関連資産の情報発信を図るため、「橋野鉄鉱山世界遺産登録5周年記念シンポジウム」を開催しました。

◆推進方策を構成する事業の状況

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
1	2	1	0	0	0	1	1 (50%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (50%)	0 (0%)	1 (50%)	0 (0%)	1 (50%)

40 世界遺産の保存と活用を進めます

課 題	今後の方向
<具体的推進方策①>世界遺産の新規・拡張登録の推進	
世界遺産等の価値を共有し、広めていくため、「平泉の文化遺産」の拡張登録のための取組を進めていく必要があります。	県、関係市町及び関係機関等の連携を図りながら、調査研究及び推薦書作成等を進め、世界遺産登録を目指して取り組みます。
<具体的推進方策②>世界遺産の理解の増進による遺産の適切な保存管理・活用の推進	
世界遺産を人類共通の宝として未来に継承していくため、適切な保存管理・活用を進めていく必要があります。	保存管理計画に基づく適切な保存管理や県民等の理解増進、県内外への情報発信などに取り組みます。
<具体的推進方策③>世界遺産の持つ新たな魅力の発信	
世界遺産に対する興味関心を高め持続させていくため、平泉文化をはじめ先端的な研究成果を広く各方面に発信し、学術文化交流の活性化と世界遺産の理解向上を図る必要があります。	令和3年11月20日に開館した「岩手県立平泉世界遺産ガイダンスセンター」を拠点に、平泉の価値を広く伝え、「平泉の文化遺産」等の周遊に活用するとともに、平泉に関する学術研究等の総合的な情報発信に取り組みます。
<具体的推進方策④>世界遺産を活用した地域間交流の推進	
「北海道・北東北の縄文遺跡群（御所野遺跡）」の世界遺産登録を受け、世界遺産を活用した人的・文化的交流をより一層進めるため、本県が誇る歴史文化や多彩な伝統文化などの地域資源について、世界遺産と連携した活用を進めていく必要があります。	県内の3つの世界遺産である「平泉の文化遺産」、「明治日本の産業革命遺産（橋野鉄鉱山）」、「北海道・北東北の縄文遺跡群（御所野遺跡）」の連携を進め、これらの世界遺産全体の誘客につなげるための情報発信や、関連文化遺産ネットワークによる交流事業に取り組みます。
総 括	
<p>以上のことから、世界遺産等の価値を共有し、広めるため、世界遺産への拡張登録や適切な保存管理・活用に取り組みます。</p> <p>また、世界遺産を活用した人的・文化的交流を図るため、3つの世界遺産を核とした関連文化遺産ネットワークによる情報発信等に取り組みます。</p>	
反映結果	
<新規事業の創設>	
<ul style="list-style-type: none"> ● 国内外に本県の魅力を発信するため、「いわての文化国際交流推進事業費（いわての文化国際交流推進事業費）【再掲】（R4 予算 6,509 千円）」を創設し、本県の文化資源を生かした映像による情報発信に取り組みます。 	
<既存事業の拡充>	
<ul style="list-style-type: none"> ● 3つの世界遺産に対する理解を深めるため、「世界遺産保存活用推進事業費（価値普及事業費）（R4 予算 4,208 千円）」を拡充し、出前授業を通じた児童生徒への教育活動を実施するとともに、新たに世界遺産のプロモーション動画を制作し、県内外への情報発信に取り組みます。 ● 世界遺産を活用した観光地域づくりを進めるため、「北いわての地域資源を活用した魅力発信事業費【再掲】（R4 予算 12,139 千円）」を拡充し、隣接圏域と連携した周遊観光の推進に取り組むとともに、IGRいわて銀河鉄道と連携した誘客イベントの開催や、環境、SDGsをテーマとした新たな教育旅行プログラムの創出など、県北地域の周遊促進や観光コンテンツの充実に取り組みます。 	
<その他取組の改善強化等>	
<ul style="list-style-type: none"> ● 「平泉の文化遺産」の拡張登録の実現に向けて、有識者から指摘されている課題解決を図るとともに、海外専門家等の指導を受けながら、推薦書の改定等に取り組みます。 ● 「平泉の文化遺産」等の価値を広く伝えるため、「岩手県立平泉世界遺産ガイダンスセンター」を拠点とした平泉の歴史・文化をはじめとする情報発信や、同センターの開館1周年記念企画展などの開催に取り 	

組みます。

- 世界遺産を活用した交流を進めるため、「明治日本の産業革命遺産（橋野鉄鉱山）」とその関連資産のネットワークを活用し、相互の交流機会の確保や、世界遺産を拠点とした周遊につなげるための一体的な情報発信に取り組めます。



41 豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が受け継がれる環境をつくり、交流を広げます

（基本方向）

県民の郷土愛を醸成するため、本県出身の偉人や様々な文化財などを活用し、歴史への理解促進に向けた取組を推進するとともに、本県が誇る民俗芸能について、触れる機会の創出や情報発信により、伝統文化への理解を深め、次世代へ受け継ぐ取組を推進します。

また、本県の豊かな歴史資源や本県が誇る伝統文化を生かした地域活性化を図るため、様々な文化財や多種多様な民俗芸能などの伝統文化を活用し、人的・経済的な交流を推進します。

さらに、市町村と連携しながら、文化財の適切な保存・継承を行うとともに、地域の活性化のために活用が図られるよう取り組みます。

【評価結果の概要】

政策項目が属する政策分野の評価結果	この政策項目の評価	
	評価結果	評価理由
C	概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> 政策項目に関連するいわて幸福関連指標3指標は、達成度A、Bの指標が2指標（67%）、達成度Dの指標が1指標（33%）でした。 4つの具体的推進方策の評価結果は、概ね順調が1つ、やや遅れが1つ、遅れが2つとなっており、全体として「遅れ」との評価結果でした。 小・中・高等学校等では、民俗芸能の継承活動に取り組んでいるほか、市町村においては、民俗芸能の発表・鑑賞イベントが実施されています。 <p>◎以上の結果から、「概ね順調」と判断しました。</p>

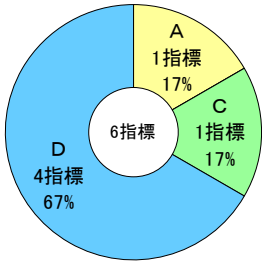
1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値(H29)	計画目標値(R4)	年度目標値(R2)	実績値(R2)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							H29	R2	比較
62 世界遺産等の来訪者数	千人	927	950	927	444	D	-	-	-
63 国、県指定文化財件数	件	⑩565	581	573	572	B	31位 (3位)	31位 (3位)	横ばい (横ばい)
64 民俗芸能ネットワーク加盟団体数	団体	396	396	396	404	A	-	-	-

【特記事項】

- 世界遺産等の来訪者数は、新型コロナウイルス感染症の影響による移動や外出の自粛等のため、来訪者が減少し、達成度は【D】となりました。なお、令和2年度は感染症対策を講じながら、世界遺産等のフォーラムやシンポジウムを開催し、価値普及や、魅力発信に取り組みました。

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

県の取組の評価結果	参考)具体的推進方策指標の達成度
遅れ	 <p>6指標 A 1指標 17% C 1指標 17% D 4指標 67%</p>
<p>(評価結果の説明)</p> <p>4つの推進方策のうち、「概ね順調」が1つ、「やや遅れ」が1つ、「遅れ」が2つとなっていることから、「遅れ」と判断しました。</p>	

具体的推進方策	取組状況	説明
① 民俗芸能の公演発表などによる、伝統文化への理解促進と情報発信	やや遅れ	推進方策指標1指標の達成度が、「C」が1指標であり、構成する事務事業も概ね順調に取り組まれているものの、「やや遅れ」と判断しました。
② 民俗芸能など伝統文化を生かした交流の推進	遅れ	推進方策指標2指標の達成度が、「D」が2指標であり、構成する事務事業が順調に取り組まれているものの、「遅れ」と判断しました。
③ 様々な文化財などを活用した歴史への理解促進と情報発信	遅れ	推進方策指標1指標の達成度が、「D」が1指標であり、構成する事務事業が順調に取り組まれているものの、「遅れ」と判断しました。
④ 様々な文化財などを活用した交流の推進	概ね順調	推進方策指標2指標の達成度が、「A」が1指標、「D」が1指標であり、構成する事務事業も順調に取り組まれていることから、「概ね順調」と判断しました。

- 本県の民俗芸能の一大祭典である「岩手県民俗芸能フェスティバル」を開催し、世代間・地域間交流や若い世代への伝承に重点を置いて取り組んでいます。
- 「岩手県民俗芸能フェスティバル」の開催に当たり、コロナ禍に対応したデジタル技術を活用し、オンラインによる発信に取り組みます。
- 新たな「食の匠」の認定に向け、地域で郷土料理伝承会等を開催し候補者の確保・育成を進めています。また、動画等を活用し、「食の匠」の技術継承や食文化の保存、情報発信に取り組んでいます。
- 「いわての文化情報大事典」ホームページの活用促進のため、SNS等での情報発信の充実を図るほか、QRコードなども活用しながら、各種会議等の機会を捉えてホームページの紹介をするなど、その認知度向上に向けた取組を行っています。

(1) 民俗芸能の公演発表などによる、伝統文化への理解促進と情報発信

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
438 「岩手県民俗芸能フェスティバル」鑑賞者数 【累計】	人	700	3,200	1,600	1,232	C

【特記事項】

- 「岩手県民俗芸能フェスティバル」鑑賞者数【累計】は、新型コロナウイルス感染症の影響による移動や外出自粛のため来場者数が減少し、達成度は【C】となりました。なお、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症対策として、首都圏の団体のリモート出演や、動画配信を行い、鑑賞の機会と発表の場の確保に取り組みました。

◆推進方策を構成する事業の状況

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
2	7	7	0	3	0	4	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (50%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (50%)

(2) 民俗芸能など伝統文化を生かした交流の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
439 観光客数(歴史・文化に関する観光地点での入込客数)	千人	3,325	3,375	3,355	2,144	D
440 「食の匠」組織による食文化伝承活動回数【再掲】	回	26	34	30	16	D

【特記事項】

- 観光客数(歴史・文化に関する観光地点での入込客数)は、新型コロナウイルス感染症の影響による移動や外出自粛のため観光客が減少し、達成度は【D】となりました。なお、令和2年度においては、SNSを活用した県内の文化芸術活動の情報発信に取り組みました。
- 「食の匠」組織による食文化伝承活動回数は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する観点から、予定していた料理実習等の開催を中止としたため、達成度は【D】となりました。なお、令和2年度においては、一部地域では、郷土料理に関するDVDを作成し、図書館等に寄贈するなど、新たな伝承活動にも取り組みました。

◆推進方策を構成する事業の状況

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
4	5	5	1	0	0	4	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)

(3) 様々な文化財などを活用した歴史への理解促進と情報発信

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
441 「いわての文化情報大事典」ホームページ訪問者数	人	398,181	417,000	411,000	355,425	D

【特記事項】

- 「いわての文化情報大事典」ホームページ訪問者数は、当該大事典の各種SNSに動画等のコンテンツを掲載し、ホームページを訪問せずに情報にアクセスできる構成としたことから、訪問者数が355,425人とどまり、達成度は【D】となりました。なお、令和2年度は、民俗芸能の動画配信による活動紹介や、文化芸術活動の再開・継続を図る助成制度の周知に取り組みました。

◆推進方策を構成する事業の状況

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
2	2	2	0	0	0	2	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)

(4) 様々な文化財などを活用した交流の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
442 文化財のユニークベニュー活用件数[累計]	件	25	100	60	122	A
443 文化財保存活用地域計画を策定した市町村数[累計]	市町村	—	22	8	0	D

【特記事項】

- 文化財保存活用地域計画を策定した市町村数〔累計〕は、新型コロナウイルス感染症の影響によりワーキンググループや協議会の開催が延期になるなど、策定に着手済みの市町村においてはスケジュールを見直す必要性が生じたため、達成度は【D】となりました。なお、令和2年度は、岩手県文化財保存活用大綱を策定し、市町村の地域計画策定に向けた方向性を示すとともに、策定に向けた市町村の協議会での助言等を行いました。

◆推進方策を構成する事業の状況

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
9	712	685	275	21	8	381	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (71%)	2 (29%)	0 (0%)	0 (0%)

41 豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が 受け継がれる環境をつくり、交流を広げます

課 題	今後の方向
<具体的推進方策①> 民俗芸能の公演発表などによる、伝統文化への理解促進と情報発信	
<p>民俗芸能の保存・継承や、新型コロナウイルス感染症の影響により減少した公演等の活動機会を確保するため、活動支援や情報発信に取り組む必要があります。</p> <p>また、民俗芸能に対する県民の理解促進が重要であり、特に若年層の民俗芸能への興味関心を高める必要があります。</p>	<p>「岩手県民俗芸能フェスティバル」を開催するとともに、当該フェスティバルのオンライン配信等を通じて、民俗芸能の発表・鑑賞の機会の確保や情報発信に取り組めます。</p> <p>また、民俗芸能活動に取り組む県内外の若者同士の交流機会を提供し、後継者育成に取り組めます。</p>
<具体的推進方策②> 民俗芸能など伝統文化を生かした交流の推進	
<p>伝統文化を生かした交流を推進するため、県内外に向け、本県の多様な民族芸能等の魅力を発信する必要があります。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で、本県の誇る食文化などの伝統文化を生かした交流を促進していく必要があります。</p>	<p>民俗芸能活動に取り組む県内外の若者同士の交流に加え、「いわての文化情報大事典」ホームページによるオンライン配信等を通じて、本県の多様な民俗芸能など伝統文化を生かした交流の推進に取り組めます。</p> <p>また、ホームページや動画等も活用し、「食の匠」による食文化の発信の支援などに取り組めます。</p>
<具体的推進方策③> 様々な文化財などを活用した歴史への理解促進と情報発信	
<p>「いわて文化情報大事典」ホームページの訪問者数が伸び悩んでいることから、魅力向上のほか認知度向上に取り組んでいく必要があります。</p> <p>また、本県の歴史についての理解促進を図るため、本県出身の偉人や文化財等の情報発信に一層取り組む必要があります。</p>	<p>「いわての文化情報大事典」ホームページの充実を図るとともに、各種会議の場や広報媒体を活用してPRするなど情報発信の強化に取り組めます。</p> <p>また、本県の歴史に関する講演会等の開催により、本県出身の偉人や文化財等についての情報発信や理解促進に取り組めます。</p>
<具体的推進方策④> 様々な文化財などを活用した交流の推進	
<p>文化財を活用した交流を推進するため、文化財保護に係る法令・計画等に基づく取組に加え、観光など多様な分野への文化財の活用を図る必要があります。</p>	<p>歴史的建造物や史跡公園などの文化財をユニークベニューとして活用し、県内外の交流の推進に取り組めます。</p> <p>また、市町村の文化財保存活用地域計画の着手に向けた支援に取り組めます。</p>
総 括	
<p>以上のことから、県民の郷土愛を醸成し、本県の伝統文化を生かした地域活性化を図るため、「民俗芸能フェスティバル」の開催・オンライン配信や、「いわての文化情報大事典」ホームページ等による情報発信を行うなど、本県の多様な文化財の魅力を生かした交流の拡大に取り組めます。</p>	
反映結果	
<新規事業の創設>	
<ul style="list-style-type: none"> ● 国内外に本県の魅力を発信するため、「いわての文化国際交流推進事業費（いわての文化国際交流推進事業費）【再掲】（R4 予算 6,509 千円）」を創設し、本県の文化資源を生かした映像による情報発信に取り組めます。 	
<その他取組の改善強化等>	
<ul style="list-style-type: none"> ● 本県の民俗芸能に対する県内外の関心を高め、保存・継承活動の機運醸成を図るため、「岩手県民俗芸能フェスティバル」の開催などにより、幅広い世代に対して、本県の多種多様な民俗芸能の魅力の発信に取り組むほか、県内外の民俗芸能に携わる若い世代の交流に取り組めます。 ● デジタル技術を活用した文化芸術の発表・鑑賞機会を確保するため、文化芸術イベントのオンライン配信に取り組めます。 ● 本県農林水産業をけん引する女性農林漁業者を育成するため、「幸せ創る女性農林漁業者育成事業費【再掲】（R4 予算 8,408 千円）」により、「食の匠」による地域食文化の伝承活動の支援に取り組めます。 ● 本県の歴史や文化財等の価値の理解促進を図るとともに、民俗芸能の魅力を県内外に広く発信するため、 	

伝統文化の動画配信等による「いわての文化情報大事典」ホームページの内容の充実や、Twitter 及び Facebook の活用によるホームページの認知度向上に取り組みます。

- 文化財等を生かした地域活性化を図るため、市町村や関係団体等と連携・情報共有しながら、歴史的建造物や史跡公園などのユニークベンチャーとしての活用を推進します。
- 岩手県文化財保存活用大綱に基づき、市町村が実施する文化財保存活用地域計画等の策定や未指定の文化財を含めた文化財悉皆調査等への支援に取り組みます。

「いわて県民計画(2019~2028)」と「第3期岩手県文化芸術振興指針」の対応状況

いわて県民計画(2019~2028)(平成31年3月策定)		
【政策推進プラン】		
政策分野	政策項目	具体的推進方策
I 健康・余暇	4 幅広い分野の文化芸術に親しみ、生涯を通じてスポーツを楽しむ機会を広げます	(1)県民が日常的に文化芸術に親しむ機会の充実
		(2)文化をめぐる新しい動向に対応した取組の推進
		(3)障がい者の文化芸術活動の推進
III 教育	19 文化芸術・スポーツを担う人材を育てます	(1)文化芸術活動を担う人材の育成 (2)文化芸術活動を支える人材の育成
IV 居住環境・コミュニティ	26 文化芸術・スポーツを生かした地域をつくります	(1)文化芸術を生かした人的・経済的な交流の推進
VII 歴史・文化	40 世界遺産の保存と活用を進めます	(1)世界遺産の新規・拡張登録の推進
		(2)世界遺産の理解の増進による遺産の適切な保存管理・活用の推進
		(3)世界遺産の持つ新たな魅力の発信
		(4)世界遺産を活用した地域間交流の推進
	41 豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が受け継がれる環境をつくり、交流を広げます。	(1)民族芸能の公演発表などによる、伝統文化への理解促進と情報発信
		(2)民俗芸能など伝統文化を生かした交流の推進
		(3)様々な文化財などを活用した歴史への理解促進と情報発信
		(4)様々な文化財などを活用した交流の推進

第3期岩手県文化芸術振興指針(令和2年3月策定)	
大項目	中項目
2 県民誰もが文化芸術を鑑賞、参加、創造できる環境の整備	(2)優れた芸術活動や美術活動への顕彰の実施
4 文化芸術活動を総合的に支援する体制の構築	(1)文化芸術鑑賞・活動を支援するネットワークの形成
	(4)県立文化施設の整備や機能の拡充
5 障がい者による文化芸術活動の総合的推進	(2)文化芸術活動を発表・鑑賞できる機会の充実
1 岩手の特徴を生かした文化芸術の振興と交流の推進	(5)文化をめぐる新しい動きへ対応した取組の推進
2 県民誰もが文化芸術を鑑賞、参加、創造できる環境の整備	(6)障がい者による文化芸術活動の支援
5 障がい者による文化芸術活動の総合的推進	(2)文化芸術活動を発表・鑑賞できる機会の充実
2 県民誰もが文化芸術を鑑賞、参加、創造できる環境の整備	(3)児童生徒の文化芸術の鑑賞機会の提供と文化芸術活動の支援
4 文化芸術活動を総合的に支援する体制の構築	(2)文化芸術を生かした地域づくりに取り組む人材の育成
5 障がい者による文化芸術活動の総合的推進	(1)障がい者による創造性あふれる創作活動の支援
2 県民誰もが文化芸術を鑑賞、参加、創造できる環境の整備	(2)優れた芸術活動や美術活動への顕彰の実施
3 日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信	(1)県文化芸術ホームページやSNSなどによる情報の発信
4 文化芸術活動を総合的に支援する体制の構築	(4)県立文化施設の整備や機能の拡充
5 障がい者による文化芸術活動の総合的推進	(2)文化芸術活動を発表・鑑賞できる機会の充実
1 岩手の特徴を生かした文化芸術の振興と交流の推進	(2)世界遺産登録に向けた取組と保存管理・活用の推進
1 岩手の特徴を生かした文化芸術の振興と交流の推進	(2)世界遺産登録に向けた取組と保存管理・活用の推進
1 岩手の特徴を生かした文化芸術の振興と交流の推進	(2)世界遺産登録に向けた取組と保存管理・活用の推進
1 岩手の特徴を生かした文化芸術の振興と交流の推進	(2)世界遺産登録に向けた取組と保存管理・活用の推進
1 岩手の特徴を生かした文化芸術の振興と交流の推進	(3)民俗芸能の保存・継承の支援
1 岩手の特徴を生かした文化芸術の振興と交流の推進	(5)文化をめぐる新しい動きへ対応した取組の推進
1 岩手の特徴を生かした文化芸術の振興と交流の推進	(6)文化芸術を通じた交流の推進
3 日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信	(1)県文化芸術ホームページやSNSなどによる情報の発信
3 日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信	(1)県文化芸術ホームページやSNSなどによる情報の発信

「第3期岩手県文化芸術振興指針」に基づく令和3年度の取組状況について

＜施策の柱＞

1 岩手の特徴を生かした文化芸術の振興と交流の推進 (1) 東日本大震災津波からの復興と文化交流の推進 (2) 世界遺産登録に向けた取組と保存管理・活用の推進 (3) 民俗芸能の保存・継承の支援 (4) 文化財等の保存と活用 (5) 文化をめぐる新しい動きへ対応した取組の推進 (6) 文化芸術を通じた交流の推進	2 県民誰もが文化芸術を鑑賞、参加、創造できる環境の整備 (1) 県民の文化芸術活動の推進 (2) 優れた芸術活動や美術活動への顕彰の実施 (3) 児童生徒の文化芸術の鑑賞の機会提供と文化芸術活動の支援 (4) 若者の文化芸術活動の支援 (5) 高齢者の文化芸術活動の支援 (6) 障がい者による文化芸術活動の支援	3 日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信 (1) 県文化芸術ホームページやSNSなどによる情報の発信 (2) 自治体広報誌・生活情報誌への文化芸術情報の掲載 (3) 国内外における公演や展示などへの支援 (4) 大型イベントなどを契機とした文化プログラムの実施	4 文化芸術活動を総合的に支援する体制の構築 (1) 文化芸術鑑賞・活動を支援するネットワークの形成 (2) 文化芸術を生かした地域づくりに取り組む人材の育成 (3) 岩手県文化振興金による文化芸術活動の支援 (4) 県立文化施設の整備や機能の拡充 (5) 官民一体による文化芸術推進体制の構築	5 障がい者による文化芸術活動の総合的推進 (1) 障がい者による創造性あふれる創作活動の支援 (2) 文化芸術活動を発表・鑑賞できる機会の充実 (3) 県文化芸術ホームページやSNSなどによる情報発信 (4) 自治体広報誌・生活情報誌への文化芸術情報の掲載 (5) 岩手県文化振興基金による文化芸術活動の支援
---	--	--	---	---

番号	施策の柱との関連					事業名	事業概要	予算額(千円) (2月現計)	取組状況
	1	2	3	4	5				
①	●	●				海外との絆を活かした文化芸術形成促進事業費	東日本大震災津波からの復興を契機とした海外との文化交流を活かし、県民に、著名な音楽家等による文化芸術の鑑賞機会を提供するとともに、学校訪問演奏会や技術指導等による人材育成事業を実施する。	3	・新型コロナウイルス感染症の影響により中止
②	●	●				いわて復興の絆コンサート開催事業	復興の絆を活かし、著名な音楽家を招聘してコンサートを開催するとともに、復興支援への感謝のメッセージを発信する。	8,474	・R3.12.18 開催
③	●	●				さんりく音楽魅力発信事業費	被災地の文化芸術を通じた地域活性化を推進するため、官民が連携して「さんりく音楽祭2021」を開催	4,978	・新型コロナウイルス感染症の影響により延期 ・R4.3末 開催予定
④	●	●				被災地児童生徒文化芸術支援事業費	被災地における児童生徒の文化芸術活動の鑑賞を促進するため、文化芸術イベント等の参加に要する経費を支援	1,000	・新型コロナウイルス感染症の影響により実施校なし (R3.12月現在)
⑤	●	●		●		岩手芸術祭開催費	県民の優れた文化芸術活動の発表の場と鑑賞の機会を提供するため、本県最大の文化芸術の祭典「岩手芸術祭」を開催	14,801	・R3.10.2～R4.2.28 県民会館をメイン会場として開催(美術展、舞台公演、等) ・R3.10.2総合フェスティバル開催(入場者:約590名、配信視聴者1,133名、出演団体数:12団体、出演者数:165名)
⑥	●	●		●		岩手芸術祭地域活性化魅力発信事業費	本県最大の文化芸術の祭典「岩手芸術祭」の全県的な盛り上げを図るため、創作体験や地域の文化催事との連携イベントを開催	5,995	・R4.1.21～23 二戸市民文化会館を会場として地域版総合フェスティバル開催(入場者:約550名、配信視聴者492名)
⑦	●	●		●		いわてアール・ブリュット魅力発信事業費	アール・ブリュット作家の創作意欲の醸成を図るとともに、県民のアール・ブリュットへの関心を高めるため、県内の優れた作品を集めた巡回展を開催するほか、県民への普及啓発の取組を実施	6,667	①R3.10.21～11.3 江釣子ショッピングセンターPAL(北上市):来場者数902人 ②R3.11.13～11.28 久慈市民文化会館(アンバーホール)(久慈市):来場者数300人 ③R3.12.4～12.17 陸前高田市コミュニティホール(陸前高田市):来場者数225人 ④R4.1.15～1.30 イオンモール盛岡(盛岡市):来場者数564人
⑧	●	●		●		障がい者芸術活動支援事業費	2020東京大会・日本博を契機とした障がい者の文化芸術フェスティバル東北ブロック事業について、事業費の一部を県が負担(文化振興課及び障がい保健福祉課においてそれぞれ2,000千円を拠出)	8,405	・(社福)岩手県社会福祉事業団に運営委託し、相談対応や各種研修会等を実施 ・第29回岩手県障がい者文化芸術祭 ①作品展示:R3.11.11～11.28 ふれあいランド岩手、作品数336点 ②ふれあい音楽祭:WEB開催(公開期間:R3.11.22～R4.1.31)、参加団体数5団体
⑨	●	●		●		障害者の文化芸術フェスティバル東北ブロック開催負担金	2020東京大会・日本博を契機とした障害者の文化芸術フェスティバル東北ブロック事業について、事業費の一部を県が負担	2,000	・「日本博を契機とした障害者の文化芸術フェスティバルin東北ブロック」開催(全体期間R3.10.16～10.24、メインイベントR3.10.23～10.24)
⑩	●	●				高齢者文化活動振興事業費補助	高齢者による文化芸術活動の振興、生きがいと健康づくりを推進するため、「岩手県長寿社会健康と福祉のまつり」開催に要する経費を支援	1,839	・R3.6.4～6.6「岩手県長寿社会健康と福祉のまつり」作品展(盛岡市民文化ホール) ・R3.7.11 将棋大会 ・R3.12.12 囲碁大会開催
⑪	●	●		●		青少年芸術普及事業	子どもたちが等しく優れた文化芸術に触れる機会を確保するため、県内各地で開催される芸術鑑賞会に要する経費を支援	1,931	・新型コロナウイルス感染症の影響により、当初実施予定19市町村25公演に対し、実施13市町村18公演、中止6市町村7公演
⑫	●	●	●			国民文化祭参加推進事業費補助	本県の文化芸術の全国への発信及び文化芸術団体の資質の向上を図るため、国民文化祭出演に要する経費を支援	242	・前年度延期となった「みやぎ大会」(岩手県麻雀段位審査会から4名が参加)及び「わかやま大会」(岩手県麻雀段位審査会及び岩手県からの協会から12名が参加)が開催。
⑬	●	●				いわての民俗芸能活性化事業費	民俗芸能の保存・継承や後継者の育成等を図るため、「民俗芸能フェスティバル」を開催するとともに、新たに担い手育成・確保のため、首都圏の高校生等との交流や著名人を活用した普及啓発等の取組を実施	5,148	・R4.1.16「民俗芸能フェスティバル」を開催(岩手県民会館、出演団体8団体)
⑭	●	●				ソフトパワーいわて戦略推進事業費(マンガ郷いわて推進事業費)	国内外で注目度が上昇している「マンガ」を活用し、伝統芸能、工芸、食文化など本県の魅力を発信するとともに、交流人口拡大の取組を推進	13,307	・コミックいわてWEBに月1本以上マンガを掲載(R4.1月未現在11話掲載) ・R4.3月下旬 単行本「コミックいわて」第11巻発行予定 ・第11回いわてマンガ大賞コンテスト開催(募集期間R3.6.14～9.21、表彰式12.19(アイーナ)) ・第6回マンガ郷いわて特別表彰(被表彰者:漫画家 荒木飛呂彦氏、表彰式12.19(アイーナ))
⑮	●	●				いわての文化国際化推進事業費	「マンガ」を活用した海外との文化交流を実施するとともに、本県の特徴的な文化資源(民俗芸能等)を生かした情報発信の取組を実施	2,885	・R3.6 第11回いわてマンガ大賞コンテスト作品を海外からも募集 ・R4.3「コミックいわてWEB」英語版及び中国語版作品の新作を配信予定。
⑯	●	●				文学の国いわて推進事業費	本県における文芸活動の振興を図るため、本県ゆかりの作家による講演会等を開催	2,617	・R3.12.12「文学の国 いわて塾」第1回及び第2回を開催 ・R4.1.22 伊吹有喜氏(「雲を紡ぐ」等)による講演会を開催 ・R4.1.29「文学の国 いわて塾」第3回開催
⑰	●	●				民俗文化地域連携事業費	民俗文化を活用した地域振興を図るため、鳥取県及び徳島県と連携し、PRイベントを開催	2,289	・世界妖怪会議(R3.8.7)をオンライン開催(本会場:KADOKAWAサクラタウン(所沢市)) ・萬國妖怪博覧会のHP上で本県の妖怪文化等の魅力を発信(公開期間:R3.8月～R4.1月)

番号	施策の柱との関連					事業名	事業概要	予算額(千円) (2月現計)	取組状況
	1	2	3	4	5				
18				●		いわて文化芸術王国構築事業費 (文化芸術振興基盤強化事業費)	文化芸術イベントの企画調整を行う「文化芸術企画調整マネージャー」を配置するとともに、官民一体による文化芸術推進体制の構築を推進	16,929	・岩手県文化振興事業団内に「文化芸術企画調整マネージャー」を配置し、県内4広域振興圏の「文化芸術活動支援ネットワーク」と連携 ・県内の文化芸術の担い手を対象としたアートマネジメント研修を開催(第1回: R4.1.27、第2回: R4.2.16 開催予定)
19			●		●	いわて文化芸術王国構築事業費 (いわて文化芸術王国構築事業費)	本県の特徴ある文化資源を国内外に発信するため、ホームページ「いわての文化情報大辞典」を運営	1,131	・ホームページ、Facebook、Twitterを活用した文化芸術情報を発信
20	●					世界遺産登録推進事業費	「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録に向けた取組を強化するとともに、「平泉の文化遺産」の拡張登録、「明治日本の産業革命遺産」の世界遺産委員会決議事項に対応した取組等を実施	18,599	・「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録に向け4道県共同の取組を行う。 ・「平泉の文化遺産」の拡張登録に向け、県・関係市町において調査研究等を継続実施
21	●					世界遺産保存活用推進事業費	「平泉の文化遺産」、「橋野鉄鉱山」、「御所野遺跡」の価値等の理解促進を図るため一体的な情報発信や、人的・文化的交流を図るため世界遺産を中核とした関連文化資源のネットワーク構築に向けた取組を実施	5,696	・知事や職員による「世界遺産出前授業」の実施(実施校:8校、受講者:567名) ・世界遺産パネル巡回展の開催(盛岡・東京・釜石) 【期間・場所】 R3.6.29~R3.7.13 県民室 R3.7.19~R3.8.10 岩手県東京事務所 銀河プラザ R3.11.6~R3.11.7 イオンタウン釜石 R4.1.22~R4.1.22 一戸町コミュニティセンター
22	●					平泉文化遺産ガイダンス施設整備事業費	「平泉の文化遺産」を総合的に紹介するガイダンス施設の整備に係る建築工事及び展示制作等を実施	675,636	・R3.11.20開館。開館初日は約240名が来館
23	●					平泉世界遺産登録10周年記念事業費	「平泉の文化遺産」の世界遺産登録10周年を機会と捉え、世界遺産の理解の更なる増進や保存活用の取組を推進するため、記念式典や各種イベントを実施する。	3,757	・R3.11.20 世界遺産登録10周年記念式典(平泉世界遺産ガイダンスセンター開館記念式典)の開催。
24	●					御所野遺跡世界遺産登録記念事業費	御所野遺跡を含む北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録の機会を捉えて、登録記念事業や式典を実施する。	3,864	・R3.12.11 登録記念式典実施 ・R4.2.19~20 御所野遺跡PRキャラバン(県南会場) ・R4.2.26~27 御所野遺跡PRキャラバン(沿岸会場)
25		●				文化芸術創作活動奨励事業費	文化芸術活動を奨励するため、優れた芸術・美術活動を行った本県在住者等を対象とした顕彰を実施	1,320	・令和2年度岩手県芸術選奨受賞者:4人 ・令和2年度岩手県美術選奨受賞者:5人 ・R3.10.27 表彰式開催
26		●				いわて暮らしの文化特別文化知事表彰	文化芸術活動を奨励するため、県民の日常生活に密着した文化的・芸術的な活動に、長年にわたり取り組んだ者等を対象とした顕彰を実施	252	・受賞者3名 ・R3.10.27 表彰式開催
27					●	県民会館施設整備費	文化芸術活動の発表・鑑賞に係る安全・安心な環境づくりを推進するため、県民会館における改修等を実施	24,088	・来館者が施設を安全・安心な状態で使用できるよう工事または設備更新を実施(大・中ホールカメラ・モニター等設備更新(設計のみ)、ホール吊り天井耐震改修(調査のみ)、南側玄関庇修繕、中ホール舞台連絡装置更新、メモリーレコーダー設備更新)
28					●	公会堂施設整備費	経年劣化により設備の損傷や不具合が生じてきていることからスロープの改修等を実施する。	5,876	・来館者が施設を安全・安心な状態で使用できるよう工事または設備更新を実施(西口スロープ改修)
29					●	岩手県文化振興基金助成事業 ※岩手県文化振興事業団実施事業	県内の文化芸術活動の一層の活性化を促進するため、岩手県文化振興基金を基に、文化芸術団体が行う自主的活動に対する助成を実施	13,923	・応募件数 36件 14,333千円 ・採択件数 34件 13,923千円

《新型コロナウイルス感染症対策事業》

番号	事業名	事業概要	予算額(千円)	取組状況
①	県民会館・公会堂感染症予防対策事業費	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、県民会館及び公会堂に非接触型体温計や消毒液等を配備	17,021	感染症予防対策物品を配備済 ・県民会館:サーモグラフィカメラ4台、クリーナーディスペンサー50台、クリーナー液、トイレ4箇所11台洋式化改修工事、等 ・公会堂:サーモグラフィカメラ1台、手指消毒液、等
②	いわて文化芸術活動支援事業費補助	新型コロナウイルス感染症の影響により、中止・延期を余儀なくされている文化芸術活動を推進するため、県内の文化芸術団体等による成果発表等に要する経費を支援	8,420	・対象期間 R3.4.1~R4.2.28 ・申請件数 23件 11,680千円 ・採択件数 21件 10,400千円 ・実績件数 14件 5,010千円(R4.1.26現在)
③	いわて文化施設利用促進事業費補助	文化施設等における収容率・収容人員が制限される中、県内の文化芸術団体等の発表機会と県民の鑑賞機会を確保するため、県民会館(大ホール・中ホール)及び公会堂(大ホール)の利用(付属設備を含む。)に要する経費を支援	13,057	・県民会館:補助件数119件、補助金額11,173千円 ・公会堂:補助件数13件、補助金額265千円(R4.1.31現在)
④	文化イベント等映像配信事業費	「新しい生活様式」に対応した文化芸術活動を推進するため、岩手県芸術祭「総合フェスティバル」などの県主催事業等において、リモート出演・配信を実施	1,566	・「民俗芸能フェスティバル」(R4.1.16)の映像配信を実施

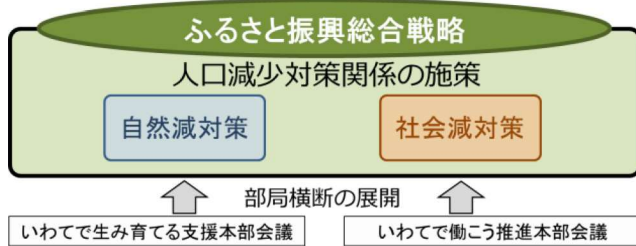
令和4年度当初予算(案)における主な取組

◎：新規
○：一部新規
・：継続

1 いわて県民計画（2019～2028）関係 （1）3つの重点テーマの推進

人口減少社会への対応

ふるさと振興総合戦略のもと、自然減対策及び社会減対策を強化するとともに、部局横断による取組を推進・展開します。



【自然減対策】

- ◎ いわてで生み育てる県民運動推進費（10.0百万円）
- ◎ 産後ケア利用促進事業費補助（7.6百万円）
- ◎ 医療的ケア児支援センター管理運営費（14.7百万円）
- 岩手であい・幸せ応援事業費（38.1百万円）
- いわてで家族になろうよ未来応援事業費（50.9百万円）
- 生涯を通じた女性の健康支援事業費（8.2百万円）
 - ・ 周産期医療対策費（303.7百万円）
 - ・ 妊産婦支援事業費（3.8百万円）
- ・ いわての子育て支援情報発信事業費（2.4百万円）
- ・ 子育て応援推進事業費（2.2百万円）

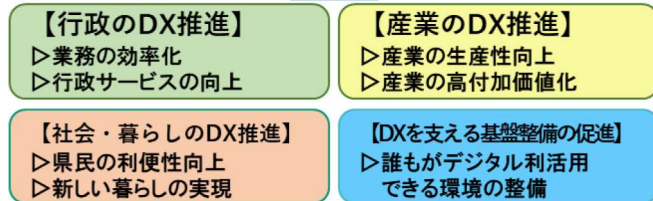
【社会減対策】

- ◎ いわてターン促進事業費（39.2百万円）
- ◎ いわて暮らし応援事業費（125.5百万円）
- ◎ いわてお試し居住体験事業費（10.9百万円）
- ◎ いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業費（29.8百万円）
- いわて就業促進事業費（112.4百万円）
- 住宅ストックリノベーション事業費（22.2百万円）
 - ・ いわて移住・定住促進事業費（31.9百万円）
 - ・ 県営住宅活用促進モデル事業費（2.5百万円） 他

デジタル化の推進

全ての県民がデジタル化の恩恵を享受することができる岩手の実現に向け、行政や産業、社会・暮らしのDXを推進するとともに、DXを支える基盤整備を促進します。

全ての県民がデジタル化の恩恵を享受することができる岩手の実現



【行政のDX推進】

- ◎ いわて県政広報事業費（5.9百万円）
- ◎ 電子決裁・文書管理システム運営費（24.3百万円）
- ◎ 市町村行政デジタル化支援事業費（5.5百万円）

【社会・暮らしのDX推進】

- ◎ 災害時ドローン導入促進事業費（2.9百万円）
- ◎ 文化スポーツ施設DX利用促進事業費（4.1百万円）
- ◎ スポーツアナリティクスサポート事業費（8.3百万円）
- ◎ 健幸づくりプロジェクト推進費（9.9百万円）
- 指定管理鳥獣捕獲等事業費（235.7百万円）

【産業のDX推進】

- ◎ 中小企業デジタル化支援ネットワーク事業費（2.8百万円）
- ◎ 商業・サービス業DX導入推進事業費（3.2百万円）
- ◎ ものづくりDXシステム導入支援強化事業費（17.4百万円）
- ◎ いわての新しい観光推進体制整備事業費（19.1百万円）
- ◎ さけ、まず海面養殖イノベーション推進事業費（4.8百万円）
- AI人材育成・社会実証推進事業費（5.6百万円）
- 北上川バレーDX推進・高度人材確保促進事業費（108.3百万円）

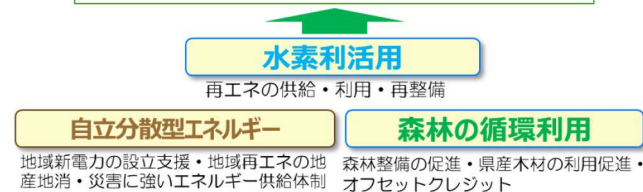
【DXを支える基盤整備の促進】

- ・ 5G等による地域課題解決モデル構築推進費（25.6百万円）
- ・ 県立学校ICT機器整備事業費（145.7百万円） 他

グリーン社会の実現

地域の強みで地域経済と環境の好循環をもたらす岩手の実現に向け、水素の利活用や自立分散型エネルギーの導入を促進するとともに、豊富な森林資源の利用を促進します。

地域の強みで地域経済と環境に好循環をもたらす「グリーン社会の実現」に取り組む



【全般的な取組】

- ◎ いわてグリーンライフ・ポイント推進事業費（5.1百万円）
- ◎ いわてみどりの食料システム戦略推進事業費（19.0百万円）
- ◎ いわて住まいのカーボンニュートラル推進事業費（15.4百万円）

【水素利活用】

- ◎ いわて水素モビリティ実証事業費（89.7百万円）
 - ・ 水素利活用による再生可能エネルギー推進事業費（11.5百万円）

【自立分散型エネルギー】

- ◎ 海洋エネルギー関連産業創出推進事業費（15.8百万円）
- ◎ 北いわて再生可能エネルギー推進事業費（0.3百万円）
- ゼロカーボン推進事業費（57.1百万円）
 - ・ 再生可能エネルギー導入促進事業費（23.2百万円）

【森林の循環利用】

- ◎ いわての木があふれる空間づくり事業費（15.1百万円）
 - ・ 森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策事業費（間伐・路網・再造林関係）（880.0百万円）
 - ・ いわて木づかい住宅普及促進事業費（87.0百万円） 他

◎：新規
○：一部新規
・：継続

(2) 復興の推進

<h3>I 安全の確保</h3> <ul style="list-style-type: none"> ○ 広域防災拠点設備等整備費 (12.0百万円) ・ 河川等災害復旧事業費 (3,503.8百万円) ・ 再生可能エネルギー導入促進事業費 (22.4百万円) ・ 環境放射能水準調査費 (4.1百万円) 他 	<h3>II 暮らしの再建</h3> <ul style="list-style-type: none"> ○ いわての復興教育推進事業費 (47.5百万円) ・ 被災者生活支援事業費 (39.7百万円) ・ 被災地コミュニティ支援コーディネーター事業費 (20.4百万円) ・ 被災児童対策事業費 (57.4百万円) ・ 被災地こころのケア対策事業費 (405.3百万円) 他 	<h3>III なりわいの再生</h3> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 沿岸地域基幹産業DX推進事業費 (10.1百万円) ◎ さけ、まず増殖緊急強化対策事業費 (49.5百万円) ◎ 沿岸地域起業等成長支援事業費 (11.0百万円) ・ 地域基幹産業人材確保支援事業費 (24.0百万円) ・ 中小企業等復旧・復興支援事業費 (399.5百万円) 他 	<h3>IV 未来のための伝承・発信</h3> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 復興コンサートアーカイブ発信事業費 (0.9百万円) ◎ さんりく音楽交流促進事業費 (1.3百万円) ◎ 復興情報発信事業費 (18.2百万円) ・ いわて情報発信強化事業費 (7.6百万円) 他
---	--	---	--

(3) 「10の政策分野」に基づく施策の推進

<h3>I 健康・余暇</h3> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 生涯にわたり心身ともに健やかに生活できる環境をつくりま ◎ 循環器病等予防緊急対策事業費 (17.7百万円) ○ 自殺対策事業費 (34.3百万円) 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 必要に応じた医療を受けることができる体制を充実します ・ 医師確保対策事業費 (1,166.3百万円) ➢ 介護や支援が必要になっても、住み慣れた地域で安心して生活できる環境をつくりま ○ 生活困窮者自立支援事業費 (113.5百万円) 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 幅広い分野の文化芸術に親しみ、生涯を通じてスポーツを楽しむ機会を広げま ◎ いわてアーツコンソーシアム推進事業費 (8.0百万円) ◎ いわてスポーツプラットフォーム推進事業費 (5.3百万円) ◎ インクルーシブスポーツ推進事業費 (2.1百万円) ○ いわてアール・ブリュット魅力発信事業費 (6.5百万円) 他
<h3>II 家族・子育て</h3> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 安心して子どもを産み育てられる環境をつくりま ◎ 産後ケア利用促進事業費補助 (7.6百万円) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ ヤングケアラー支援体制強化事業費 (11.0百万円) ◎ 医療的ケア児支援センター管理運営費 (14.7百万円) ○ 岩手であい・幸せ応援事業費 (38.1百万円) ○ いわてで家族になろうよ未来応援事業費 (50.9百万円) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 里親委託促進事業費 (27.2百万円) ➢ 仕事と生活を両立できる環境をつくりま ・ いわて働き方改革加速化推進事業費 (110.3百万円) ・ 保育対策総合支援事業費 (132.3百万円) 他
<h3>III 教育</h3> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 【知育】児童生徒の確かな学力を育みま ◎ いわて幼児教育センター運営費 (12.4百万円) ◎ 確かな学力育成プラン推進費 (11.4百万円) ➢ 【徳育】児童生徒の豊かな人間性と社会性を育みま ・ 道徳教育推進事業費 (2.1百万円) 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 【体育】児童生徒の健やかな体を育みま ◎ 60プラスプロジェクト推進事業費 (3.0百万円) ➢ 共に学び、共に育つ特別支援教育を進めま ・ 特別支援学校整備事業費 (605.2百万円) ➢ 児童生徒が安全に学ぶことができる教育環境の整備や教職員の資質の向上を進めま ◎ 校舎改築事業費 (504.1百万円) ◎ いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業費 (29.8百万円) 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 文化芸術・スポーツを担う人材を育てま ◎ スポーツアナリティクスサポート事業費 (8.3百万円) ・ スキー全国大会少年種別強化事業費補助 (5.1百万円) ➢ 高等教育機関と連携した地域づくり・人づくりを進めま ◎ 県内大学生等定着推進事業費 (5.6百万円) 他
<h3>IV 居住環境・コミュニティ</h3> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 快適で豊かな暮らしを支える生活環境をつくりま ○ 住宅ストックリノベーション事業費 (22.2百万円) ➢ 地域の暮らしを支える公共交通を守りま ◎ 公共交通バリアフリー化設備等整備費補助 (20.0百万円) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 三陸鉄道バリアフリー化設備等整備費補助 (50.0百万円) ・ 地域公共交通再編・活性化推進事業費 (33.1百万円) ➢ 岩手で暮らす魅力を高め、移住・定住を促進しま ◎ いわてターン促進事業費 (39.2百万円) ◎ いわて暮らし応援事業費 (125.5百万円) ◎ いわてお試し居住体験事業費 (10.9百万円) 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 海外の多様な文化を理解し、共に生活できる地域づくりを進めま ◎ ハロウィンターナショナルスクール安比ジャパン支援費補助 (164.0百万円) ➢ 文化芸術・スポーツを生かした地域をつくりま ・ 日本スポーツマスターズ2022開催準備費 (63.1百万円) ・ 特別国民体育大会冬季大会スキー競技会開催準備費 (215.7百万円) 他
<h3>V 安全</h3> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 自助、共助、公助による防災体制をつくりま ◎ 災害時ドローン導入促進事業費 (2.9百万円) ・ 地域防災力強化プロジェクト事業費 (42.5百万円) 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 事故や犯罪が少なく、安全・安心に暮らせるまちづくりを進めま ・ 犯罪のない安全・安心まちづくり推進事業費 (1.2百万円) ・ 特殊詐欺被害予防対策費 (13.3百万円) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通安全広報啓発フォー・アプローチ事業費 (2.0百万円) ➢ 食の安全・安心を確保し、地域に根ざした食育を進めま ・ 食の信頼確保向上対策事業費 (3.6百万円) 他
<h3>VI 仕事・収入</h3> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 地域経済を支える中小企業の振興を図りま ◎ 小規模事業者事業継続力強化支援事業費補助 (5.0百万円) ○ 事業継続伴走型支援事業費補助 (141.4百万円) ➢ 国際競争力が高く、地域の産業・雇用上好循環をもたらすものづくり産業を盛んにしま ◎ ものづくりDXシステム導入支援強化事業費 (17.4百万円) ○ 北上川バレーDX推進・高度人材確保促進事業費 (108.3百万円) 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 地域資源を生かした魅力ある産業を盛んにしま ◎ 飲食店・商店街利用促進費補助 (25.0百万円) ◎ 買うなら岩手のものECビジネス展開事業費 (19.8百万円) ➢ 地域経済に好循環をもたらす観光産業を盛んにしま ◎ いわての新しい観光推進体制整備事業費 (19.1百万円) ◎ いわてインバウンド推進事業費 (20.6百万円) ◎ 三陸観光地域づくり推進事業費 (37.1百万円) ➢ 意欲と能力のある経営体を育成し、農林水産業の振興を図りま 	<ul style="list-style-type: none"> ○ いわてニューファーマー支援事業費 (594.1百万円) ○ 新規就農総合対策事業費 (12.9百万円) ➢ 収益力の高い「食料・木材供給基地」をつくりま ◎ さけ、まず増殖緊急強化対策事業費 (49.5百万円) ◎ さけ、まず海面養殖イノベーション推進事業費 (4.8百万円) ➢ 農林水産物の付加価値を高め、販路を広げま ◎ いわての木があふれる空間づくり事業費 (15.1百万円) ・ 日本一の美味しいお米の国づくり推進事業費 (62.4百万円) 他

◎：新規
○：一部新規
・：継続

Ⅶ 歴史・文化	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 世界遺産の保存と活用を進めます <ul style="list-style-type: none"> ○ 世界遺産保存活用推進事業費（5.7百万円） ・ 世界遺産登録推進事業費（51.2百万円） ・ 平泉世界遺産ガイドセンター管理運営費（84.7百万円） 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が受け継がれる環境をつくり、交流を広げます <ul style="list-style-type: none"> ◎ いわたの文化国際交流推進事業費（6.5百万円） 他
Ⅷ 自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 多様で優れた環境を守り、次世代に引き継ぎます <ul style="list-style-type: none"> ◎ 三陸ジオパーク推進強化事業費（7.6百万円） ○ シカ・イノシシ捕獲対策事業費（235.7百万円） ➢ 循環型地域社会の形成を進めます <ul style="list-style-type: none"> ○ 循環型地域社会形成推進事業費（135.0百万円） ・ 海岸漂着物等地域対策推進事業費（45.1百万円） 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 地球温暖化防止に向け、低炭素社会の形成を進めます <ul style="list-style-type: none"> ◎ 海洋エネルギー関連産業創出推進事業費（15.8百万円） ◎ いわた住まいのカーボンニュートラル推進事業費（15.4百万円） 他
Ⅸ 社会基盤	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 科学・情報技術を活用できる基盤を強化します <ul style="list-style-type: none"> ○ いわたデジタル化推進費（25.8百万円） ➢ 安全・安心を支える社会資本を整備します <ul style="list-style-type: none"> ・ 道路環境改善事業費（8,034.3百万円） 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 産業や観光振興の基盤となる社会資本を整備します <ul style="list-style-type: none"> ◎ 外国船社クルーズ船誘致プロモーション事業費（6.8百万円） 他
X 参画	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 性別や年齢、障がいの有無にかかわらず活躍できる社会をつくります <ul style="list-style-type: none"> ○ いわた若者活躍支援強化事業費（25.0百万円） ・ いわたワーク・ライフ・バランス促進強化事業費（5.8百万円） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 女性のためのつながりサポート事業費（15.8百万円） ・ いわた男女共同参画プラン推進事業費（23.6百万円） 他

（４）新しい時代を切り拓くプロジェクトの推進

ILCプロジェクト	三陸防災復興ゾーンプロジェクト	北いわて産業・社会革新ゾーンプロジェクト
○ ILC推進事業費（110.8百万円）	<ul style="list-style-type: none"> ◎ さんりく音楽交流促進事業費（1.3百万円） ○ 新しい三陸復興推進費（5.8百万円） ○ 三陸観光地域づくり推進事業費（37.1百万円） ○ 三陸水産加工業等支援事業費（3.1百万円） ○ 三陸観光推進リスタート事業費（32百万円） ・ いわた三陸ガストロノミー推進事業費（8.2百万円） 他 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 北いわてプラチナシティ推進事業費（9.3百万円） ◎ 北いわて再生可能エネルギー推進事業費（0.3百万円） ○ 働くなら北いわて、暮らすなら北いわて推進事業費（4.7百万円） ○ 北いわて産業競争力強化事業費（8.0百万円） ○ 北いわての地域資源を活用した魅力発信事業費（12.1百万円） ・ 北いわて建設技術向上促進事業費（1.0百万円） 他
北上川バレープロジェクト		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 北上川バレープロジェクト推進事業費（4.7百万円） ○ 北上川バレーDX推進・高度人材確保促進事業費（108.3百万円） ○ 北上川流域生産性向上対策事業費（80百万円） 他 		

その他のプロジェクト

<ul style="list-style-type: none"> ■ 活力ある小集落実現プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ◎ 活力ある小集落支援推進事業費（3.6百万円） ○ 地域おこし協力隊活動支援事業費（2.6百万円） 他 ■ 農林水産業高度化推進プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ◎ さけ、ます海面養殖イノベーション推進事業費（4.8百万円） ◎ いわたみどりの食料システム戦略推進事業費（19.0百万円） ◎ 県産サーモン養殖確立支援事業費（109百万円） ・ 森林クラウドシステム整備事業費（112.7百万円） 他 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 健幸づくりプロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ◎ 健幸づくりプロジェクト推進費（9.9百万円） ■ 学びの改革プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ◎ 市町村学校教育ICT活用促進事業費（84.9百万円） 他 ■ 文化・スポーツレガシープロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ◎ いわたアーツコンソーシアム推進事業費（8.0百万円） ◎ いわたスポーツプラットフォーム推進事業費（5.3百万円） 他 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 水素利活用推進プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ◎ いわた水素モビリティ実証事業費（89.7百万円） ・ 水素利活用による再生可能エネルギー推進事業費（11.5百万円） ■ 人交密度向上プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ◎ 農業農村関係人口拡大定着支援事業費（6.1百万円） ○ 地域おこし協力隊活動支援事業費（2.6百万円） ○ 関係人口創出・拡大事業費（12.5百万円） ○ いわたの魅力まるごと発信強化事業費（21.4百万円） 他
--	--	---

（５）広域振興圏の施策の推進

<ul style="list-style-type: none"> ■ 広域行政と市町村間連携の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域経営推進費（450.0百万円） ■ 県北・沿岸圏域の地域資源を活用した取組 <ul style="list-style-type: none"> ◎ 三陸ジオパーク推進強化事業費（7.6百万円） ◎ 北いわて再生可能エネルギー推進事業費（0.3百万円） 他 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 県央広域振興圏 <ul style="list-style-type: none"> ○ 未来いもりおかプロジェクト事業費（60百万円） ○ もりおか広域連携観光魅力づくり推進事業費（4.5百万円） 他 ■ 県南広域振興圏 <ul style="list-style-type: none"> ◎ いわた県南移住定住総合コーディネート事業費（7.8百万円） ○ 北上川流域生産性向上対策事業費（80百万円） 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 沿岸広域振興圏 <ul style="list-style-type: none"> ○ 三陸水産加工業等支援事業費（3.1百万円） ○ 三陸観光推進リスタート事業費（32百万円） 他 ■ 県北広域振興圏 <ul style="list-style-type: none"> ○ 働くなら北いわて、暮らすなら北いわて推進事業費（4.7百万円） ○ 北いわて産業競争力強化事業費（8.0百万円） 他
--	--	---

◎：新規
○：一部新規
・：継続

2 ふるさと振興の推進

※ 3ページに掲載の自然減対策及び社会減対策関連事業のほか、ふるさと振興を更に進める事業を掲載しています。

I 岩手で働く

- ◎ 小規模事業者事業継続力強化支援事業費補助（5.0百万円）
- ◎ 飲食店・商店街利用促進費補助（25.0百万円）

- ◎ 買うなら岩手のものECビジネス展開事業費（19.8百万円）
- ◎ 農業農村関係人口拡大定着支援事業費（6.1百万円）
- 事業継続伴走型支援事業費補助（141.4百万円）

- 北東北三県観光立県推進協議会負担金（12.3百万円）
- 地域就職氷河期世代支援加速化事業費（25.5百万円）
- ・ 障がい者就業支援事業費（20.6百万円） 他

II 岩手で育てる

- 里親委託促進事業費（27.2百万円）

- ・ 保育対策総合支援事業費（132.3百万円）
- ・ 子ども、妊産婦医療助成費（579.9百万円）

- ・ 家庭教育子育て支援推進事業費（2.9百万円）
- ・ 学校・家庭・地域の連携協力推進事業費（142.0百万円） 他

III 岩手で暮らす

- ◎ 活力ある小集落支援推進事業費（3.6百万円）
- ◎ いわてアーツコンソーシアム推進事業費（8.0百万円）
- ◎ いわてスポーツプラットフォーム推進事業費（5.3百万円）

- ◎ 文化スポーツ施設DX利用促進事業費（4.1百万円）
- ◎ 循環器病等予防緊急対策事業費（17.7百万円）
- ◎ いわて幼児教育センター運営費（12.4百万円）

- ◎ 県内大学生等定着推進事業費（5.6百万円）
- ◎ 60プラスプロジェクト推進事業費（3.0百万円）
- ・ 都市計画道路整備事業費（896.4百万円）
- ・ 地域部活動推進実践研究事業費（9.4百万円） 他

IV 岩手とつながる

- ◎ さんりく音楽交流促進事業費（1.3百万円）
- 関係人口創出・拡大事業費（12.5百万円）

- 留学生等人材ネットワーク形成事業費（5.2百万円）
- いわての魅力まるごと発信強化事業費（21.4百万円） 他

3 新型コロナウイルス感染症対策関連事業

1 感染拡大防止への対応

① 医療提供体制の強化

- ・ 新型コロナウイルス感染症入院施設等確保事業費補助（16,758.1百万円）
- ・ 新型コロナウイルス感染症軽症者等宿泊療養事業費（4,356.6百万円）
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策保健衛生人材確保事業費（60.5百万円）

② まん延防止

➢ ワクチン接種体制の確保

- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費（4,101.7百万円）
- ◎ 新型コロナウイルスワクチン接種市町村輸送機能強化事業費補助（71.8百万円）

➢ 学校・介護施設等の感染防止対策への支援

- ・ 全日制高等学校教育活動継続環境整備事業費（126.5百万円）
- ・ 介護施設等多床室個室化改修事業費補助（16.6百万円）

③ 相談・検査体制の強化・充実

➢ 相談体制の強化・充実

- ・ 感染症予防費（1,070.3百万円）

➢ 円滑な検査の実施

- ・ 新型コロナウイルス感染症PCR検査促進等事業費（2,210.1百万円） 他

2 社会生活・経済活動を支える取組

① 個人・家族向け（社会生活関係）

- ◎ 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金給付事業費（34.9百万円）
- ・ 生活福祉資金貸付事業推進費補助（114.1百万円）
- ・ 女性のためのつながりサポート事業費（15.8百万円）

② 事業者・団体向け（経済活動関係）

➢ 経営に関する相談対応

- 事業継続伴走型支援事業費補助（141.4百万円）

➢ 資金繰りの支援

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策資金貸付金（31,569.3百万円）

➢ 地場産業に対する支援

- ◎ 飲食店・商店街利用促進費補助（25.0百万円）
- ◎ 買うなら岩手のものECビジネス展開事業費（19.8百万円）

➢ 観光・宿泊事業者に対する支援

- ◎ いわての新しい観光推進体制整備事業費（19.1百万円）
- ◎ いわてインバウンド推進事業費（20.6百万円） 他

3 新しい「働き方」「暮らし」「学び」を進める取組

① 働き方

- デジタル化や先端技術の活用による生産性の向上等
- ・ いわて働き方改革加速化推進事業費（110.3百万円）

② 暮らし

➢ デジタル化や先端技術の活用による利便性の向上等

- ◎ 健幸づくりプロジェクト推進費（9.9百万円）
- いわてデジタル化推進費（25.8百万円）

③ 学び

➢ 教育の現場におけるICT化の推進

- ・ 県立学校ICT機器整備事業費（145.7百万円）
- ・ 公立幼稚園等ICT環境整備事業費補助（7.5百万円） 他

4 県政150周年記念事業の実施

「盛岡県」から「岩手県」に改称されてから令和4年に150周年を迎え、また、現在の岩手県の県域が確定してから令和8年に150周年を迎えることから、令和4年度から令和8年度までを「県政150周年記念期間」と位置づけ、岩手の歴史を振り返り、岩手の未来を展望するため、県政150周年記念事業に取り組みます。

■ 官民一体となった取組

各界（経済界、文化スポーツ等）をメンバーとする実行委員会の設置

◎ 県政150周年記念事業費（3.7百万円）

各種媒体を活用した機運醸成や、いわての歩みの紹介等

文化スポーツ部 文化振興課 令和4年度の主要事業

照	文化スポーツ企画室
会	企画担当
先	019-629-6294

【予算額】 (単位：百万円、%)

区分	4年度当初予算額	3年度当初予算額	増減額	増減率
当初予算額	235.0	284.8	△ 49.8	△ 17.5
うち震災対応分	0.9	1.0	△ 0.1	△ 10.0

■主要事業一覧

【復興推進関係】（文化スポーツ部文化振興課） (単位：百万円)

事業名	R4当初 予算額	R3当初 予算額	差引	新規 の別	政 策	単 独	ふる さと	分野 横断	重 点	再 掲	事業内容
II 暮らしの再建											
【II】3 教育・文化・スポーツ											
生きる活力を生み出し、地域への誇りや愛着を深めるため、文化芸術・スポーツ活動の振興や伝統文化などの保存・継承を支援します。											
【II】3-9 文化芸術環境の整備や伝統文化などの保存と継承を支援します											
被災地児童生徒文化芸術支援事業費 (文化振興課)	0.9	1.0	△ 0.1			○	III-2				被災した沿岸部の子どもたちに対し、優れた文化芸術の鑑賞機会を与えるため、開催場所までの移動用バスを提供
いわての文化国際交流推進事業費(復興コンサートアーカイブ発信事業費) (文化振興課)	0.9	0.0	皆増	新規		○	III-2				復興支援を通じた著名な音楽家と本県との交流の記録を編集・保存し、県ホームページ等で公開・発信
さんりく音楽交流促進事業費 (文化振興課)	1.3	0.0	皆増	新規		○	III-2	V-3			文化芸術を通じた被災地の地域活性化を促進するため、「さんりく音楽祭2022」を開催
【II】3-10 スポーツ・レクリエーション環境を整備するとともに、スポーツを生かした交流を促進します											
IV 未来のための伝承・発信											
【IV】2 復興情報発信											
将来にわたって復興への理解を深め、継続的な復興への参画を促進するため、復興の姿を国内外に積極的に発信していきます。											
【IV】2-2 復興の姿を重層的に発信します											
いわての文化国際交流推進事業費(復興コンサートアーカイブ発信事業費) (文化振興課)	0.9	0.0	皆増	新規		○	III-2				復興支援を通じた著名な音楽家と本県との交流の記録を編集・保存し、県ホームページ等で公開・発信
さんりく音楽交流促進事業費 (文化振興課)	1.3	0.0	皆増	新規		○	III-2	V-3			文化芸術を通じた被災地の地域活性化を促進するため、「さんりく音楽祭2022」を開催

【政策推進関係】（文化スポーツ部文化振興課）

(単位：百万円)

事業名	R4当初 予算額	R3当初 予算額	差引	新規 の別	政 策	単 独	ふる さと	分野 横断	重 点	再 掲	事業内容
「10の政策分野」に基づく施策の推進											
I 健康・余暇											
【I】4 幅広い分野の文化芸術に親しみ、生涯を通じてスポーツを楽しむ機会を広げます											
年齢、性別、障がいの有無に関わらず、県民が身近な場所で手軽に文化芸術活動を発表・鑑賞する機会の充実に取り組むとともに、県民が心身ともに健康的に暮らせるよう、若年期から高齢期までのライフステージに応じたスポーツを楽しむ機会の充実を図ります。											
【I】4-1 県民が日常的に文化芸術に親しみ機会の充実											
いわてアーツコンソーシアム推進事業費 (文化振興課)	8.0	0.0	皆増	新規		○	III-2				文化芸術を生かしたまちづくりを進めるため、官民一体による文化芸術推進体制の構築等を推進
いわての文化国際交流推進事業費(復興コンサートアーカイブ発信事業費) (文化振興課)	0.9	0.0	皆増	新規		○	III-2				復興支援を通じた著名な音楽家と本県との交流の記録を編集・保存し、県ホームページ等で公開・発信
いわて文化芸術王国構築事業費(いわて文化芸術王国構築事業費) (文化振興課)	1.1	1.2	△ 0.1			○	III-2				本県の特徴ある文化資源について、広く発信するため、ホームページ「いわての文化情報大事典」を運営
いわて文化芸術王国構築事業費(文化芸術振興基盤強化事業費) (文化振興課)	3.6	18.8	△ 15.2			○	III-2				県内の文化芸術活動を推進するため、「文化芸術コーディネーター」を配置
岩手芸術祭開催費 (文化振興課)	14.8	14.8	0.0			○	III-2				県民の文化芸術活動の発表の場と鑑賞の機会を確保するため、本県における文化芸術の祭典「岩手芸術祭」を開催
岩手芸術祭地域活性化魅力発信事業費 (文化振興課)	5.0	7.7	△ 2.7			○	III-2				県民が文化芸術に親しみ機会の充実を図るため、文化芸術団体と連携して、文化芸術イベントを開催
さんりく音楽交流促進事業費 (文化振興課)	1.3	0.0	皆増	新規		○	III-2	V-3			文化芸術を通じた被災地の地域活性化を促進するため、「さんりく音楽祭2022」を開催
文学の国いわて推進事業費 (文化振興課)	2.0	2.6	△ 0.6			○	III-2				本県における文芸活動の振興を図るため、本県ゆかりの作家による講演会等を開催するとともに、若年層を対象とした専門家による技術指導等を実施
いわて文化芸術活動支援事業費補助 (文化振興課)	12.0	12.0	0.0				III-2				新型コロナウイルス感染症の影響を受けている県内文化芸術団体等の活動継続・再開に要する経費の一部を補助(補助率：2/3・上限150万円、補助対象：県内文化芸術団体等)
文化施設DX利用促進事業費 (文化振興課)	1.2	0.0	皆増	新規		○	III-2			デジ タル 化	県民会館・公会堂の利用者の利便性の向上及び利用者の拡大を図るため、予約システムを開発

【政策推進関係】（文化スポーツ部文化振興課）

（単位：百万円）

事業名	R4当初 予算額	R3当初 予算額	差引	新規 の別	政 策 の 別	単 独	ふ る さ と	分 野 横 断	重 点	再 掲	事業内容	
【I】4-② 文化をめぐる新しい動向に対応した取組の推進												
いわての文化国際交流推進事業費（いわての文化国際交流推進事業費）（文化振興課）	6.5	0.0	皆増	新規	○		Ⅲ-2				デジタル化	本県の文化資源を生かした映像の制作による国内外への情報発信や、「マンガ」を活用した海外との文化交流を実施
ソフトパワーいわて戦略推進事業費（マンガ郷いわて推進事業費）（文化振興課）	13.3	14.8	△ 1.5			○	Ⅲ-2					国内外で注目度が高い「マンガ」を活用し、伝統芸能、工芸、食文化など本県の魅力発信
【I】4-③ 障がい者の文化芸術活動の推進												
障がい者芸術活動支援事業費（文化振興課）	8.2	8.5	△ 0.3				Ⅲ-2					障がい者の文化芸術活動を支援する人材の育成や、関係者のネットワーク形成を図るため、「障がい者芸術活動支援センター」による支援活動を実施
いわてアール・ブリュット魅力発信事業費（文化振興課）	6.5	9.2	△ 2.7	一部新規		○	Ⅲ-2					県民のアール・ブリュットへの関心を高めるとともに、アール・ブリュット作家の創作意欲の醸成を図るため、県内及び首都圏における作品展示の開催や県民への普及啓発事業を実施
Ⅲ 教育												
【Ⅲ】19 文化芸術・スポーツを担う人材を育てます												
一流の文化芸術に触れる機会の確保や意欲的な創作活動等を後押しするとともに、障がい者の文化芸術活動を推進します。また、アスリート、障がい者アスリートの各種競技大会や強化合宿への参加を支援するとともに、スポーツ活動を支える指導者等の養成、スポーツ医・科学サポートを推進します。												
【Ⅲ】19-① 文化芸術活動を担う人材の育成												
いわて文化芸術王国構築事業費（文化芸術振興基盤強化事業費）（文化振興課）	3.6	18.8	△ 15.2			○	Ⅲ-2					県内の文化芸術活動を推進するため、「文化芸術コーディネーター」を配置
岩手芸術祭開催費（文化振興課）	14.8	14.8	0.0			○	Ⅲ-2					県民の文化芸術活動の発表の場と鑑賞の機会を確保するため、本県における文化芸術の祭典「岩手芸術祭」を開催
岩手芸術祭地域活性化魅力発信事業費（文化振興課）	5.0	7.7	△ 2.7			○	Ⅲ-2					県民が文化芸術に親しむ機会の充実を図るため、文化芸術団体と連携して、文化芸術イベントを開催
さんりく音楽交流促進事業費（文化振興課）	1.3	0.0	皆増	新規		○	Ⅲ-2	V-3				文化芸術を通じた被災地の地域活性化を促進するため、「さんりく音楽祭2022」を開催
文学の国いわて推進事業費（文化振興課）	2.0	2.6	△ 0.6			○	Ⅲ-2					本県における文芸活動の振興を図るため、本県ゆかりの作家による講演会等を開催するとともに、若年層を対象とした専門家による技術指導等を実施
いわて文化芸術活動支援事業費補助（文化振興課）	12.0	12.0	0.0				Ⅲ-2					新型コロナウイルス感染症の影響を受けている県内文化芸術団体等の活動継続・再開に要する経費の一部を補助（補助率：2/3・上限150万円、補助対象：県内文化芸術団体等）

【政策推進関係】（文化スポーツ部文化振興課）

（単位：百万円）

事業名	R4当初 予算額	R3当初 予算額	差引	新規 の別	政 策 の 別	単 独	ふ る さ と	分 野 横 断	重 点	再 掲	事業内容	
【Ⅲ】19-② 文化芸術活動を支える人材の育成												
いわて文化芸術王国構築事業費（文化芸術振興基盤強化事業費）（文化振興課）	3.6	18.8	△ 15.2			○	Ⅲ-2					県内の文化芸術活動を推進するため、「文化芸術コーディネーター」を配置
障がい者芸術活動支援事業費（文化振興課）	8.2	8.5	△ 0.3				Ⅲ-2			○		障がい者の文化芸術活動を支援する人材の育成や、関係者のネットワーク形成を図るため、「障がい者芸術活動支援センター」による支援活動を実施
Ⅳ 居住環境・コミュニティ												
【Ⅳ】26 文化芸術・スポーツを生かした地域をつくります												
岩手芸術祭をはじめとした文化イベントの開催などにより、人的・経済的な交流を推進するとともに、ラグビーワールドカップ2019 TM や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーを継承し、スポーツツーリズムの拡充などを通じて、人的・経済的な交流の拡大に取り組みます。												
【Ⅳ】26-① 文化芸術を生かした人的・経済的な交流の推進												
いわてアーツコンソーシアム推進事業費（文化振興課）	8.0	0.0	皆増	新規	○	○	Ⅳ-2					文化芸術を生かしたまちづくりを進めるため、官民一体による文化芸術推進体制の構築等を推進
いわての文化国際交流推進事業費（いわての文化国際交流推進事業費）（文化振興課）	6.5	0.0	皆増	新規	○		Ⅳ-2				デジタル化	本県の文化資源を生かした映像の制作による国内外への情報発信や、「マンガ」を活用した海外との文化交流を実施
いわての文化国際交流推進事業費（復興コンサートアーカイブ発信事業費）（文化振興課）	0.9	0.0	皆増	新規		○	Ⅳ-2					復興支援を通じた著名な音楽家と本県との交流の記録を編集・保存し、県ホームページ等で公開・発信
いわて文化芸術王国構築事業費（いわて文化芸術王国構築事業費）（文化振興課）	1.1	1.2	△ 0.1			○	Ⅳ-2					本県の特徴ある文化資源について、広く発信するため、ホームページ「いわての文化情報大事典」を運営
いわて文化芸術王国構築事業費（文化芸術振興基盤強化事業費）（文化振興課）	3.6	18.8	△ 15.2			○	Ⅳ-2					県内の文化芸術活動を推進するため、「文化芸術コーディネーター」を配置
岩手芸術祭開催費（文化振興課）	14.8	14.8	0.0			○	Ⅳ-2					県民の文化芸術活動の発表の場と鑑賞の機会を確保するため、本県における文化芸術の祭典「岩手芸術祭」を開催
岩手芸術祭地域活性化魅力発信事業費（文化振興課）	5.0	7.7	△ 2.7			○	Ⅳ-2					県民が文化芸術に親しむ機会の充実を図るため、文化芸術団体と連携して、文化芸術イベントを開催
さんりく音楽交流促進事業費（文化振興課）	1.3	0.0	皆増	新規		○	Ⅳ-2	V-3				文化芸術を通じた被災地の地域活性化を促進するため、「さんりく音楽祭2022」を開催

【政策推進関係】（文化スポーツ部文化振興課）

（単位：百万円）

事業名	R4当初 予算額	R3当初 予算額	差引	新規 の別	政 70	単 独	ふ と	分 野 横 断	重 点	再 掲	事業内容
Ⅶ 歴史・文化											
【Ⅶ】40 世界遺産の保存と活用を進めます											
「平泉の文化遺産」、「明治日本の産業革命遺産」及び「北海道・北東北の縄文遺跡群」の保存管理計画に基づく適切な保存管理や県民の理解増進などの取組の推進、世界遺産を核として、県内の関連文化資源のネットワークの構築や「平泉の文化遺産」の世界遺産への拡張登録の取組を推進します。											
【Ⅶ】40-① 世界遺産の新規・拡張登録の推進											
世界遺産登録推進事業費 （文化振興課）	51.2	69.1	△ 17.9					Ⅲ-2	V-4		「平泉の文化遺産」の拡張登録に向けた取組、「明治日本の産業革命遺産」の世界遺産委員会決議事項に対応した取組、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の保存活用の取組等を実施
【Ⅶ】40-② 世界遺産の理解の増進による遺産の適切な保存管理・活用の推進											
世界遺産保存活用推進事業費 （文化振興課）	5.7	8.4	△ 2.7	一部 新規				Ⅲ-2			「平泉」、「橋野」及び「御所野」の価値等の理解増進や人的・文化的交流を図るとともに、世界遺産を核とした関連文化資源ネットワーク構築による一体的な情報発信等を実施
平泉の文化遺産プロモーション事業費 （文化振興課）	3.7	8.5	△ 4.8					Ⅲ-2			平泉世界遺産ガイドセンター開館1周年に合わせて、「平泉の文化遺産」の県民の理解増進を図る取組や、県内外への情報発信等を実施
【Ⅶ】40-③ 世界遺産の持つ新たな魅力の発信											
平泉世界遺産ガイドセンター管理運営費 （文化振興課）	84.7	103.0	△ 18.3					Ⅲ-2			平泉世界遺産ガイドセンターの施設運営のほか、展示解説、企画展示等を実施
【Ⅶ】40-④ 世界遺産を活用した地域間交流の推進											
世界遺産保存活用推進事業費 （文化振興課）	5.7	8.4	△ 2.7	一部 新規				Ⅲ-2			「平泉」、「橋野」及び「御所野」の価値等の理解増進や人的・文化的交流を図るとともに、世界遺産を核とした関連文化資源ネットワーク構築による一体的な情報発信等を実施
平泉世界遺産ガイドセンター管理運営費 （文化振興課）	84.7	103.0	△ 18.3					Ⅲ-2			平泉世界遺産ガイドセンターの施設運営のほか、展示解説、企画展示等を実施
【Ⅶ】41 豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が受け継がれる環境をつくり、交流を広げます											
本県が誇る民俗芸能について、触れる機会の創出や情報発信により、伝統文化への理解を深め、次世代へ受け継ぐ取組を推進するとともに、様々な文化財や多種多様な民俗芸能などの伝統文化を活用し、人的・経済的な交流を推進します。											
【Ⅶ】41-① 民俗芸能の公演発表などによる、伝統文化への理解促進と情報発信											
いわての民俗芸能活性化交流促進事業費 （文化振興課）	4.4	5.2	△ 0.8					Ⅲ-2			民俗芸能の保存・継承や後継者の育成等を図るため、「民俗芸能フェスティバル」を開催し、民俗芸能団体等の活動や交流を促進
【Ⅶ】41-② 民俗芸能など伝統文化を生かした交流の推進											
いわての文化国際交流推進事業費（いわての文化国際交流推進事業費） （文化振興課）	6.5	0.0	皆増	新規				Ⅲ-2		デ ジ タ ル 化	本県の文化資源を生かした映像の制作による国内外への情報発信や、「マンガ」を活用した海外との文化交流を実施

【政策推進関係】（文化スポーツ部文化振興課）

（単位：百万円）

事業名	R4当初 予算額	R3当初 予算額	差引	新規 の別	政 70	単 独	ふ と	分 野 横 断	重 点	再 掲	事業内容
【Ⅶ】41-③ 様々な文化財などを活用した歴史への理解促進と情報発信											
いわて文化芸術王国構築事業費（いわて文化芸術王国構築事業費） （文化振興課）	1.1	1.2	△ 0.1					Ⅲ-2			本県の特徴ある文化資源について、広く発信するため、ホームページ「いわての文化情報大事典」を運営
いわて文化芸術王国構築事業費（文化芸術振興基盤強化事業費） （文化振興課）	3.6	18.8	△ 15.2					Ⅲ-2			県内の文化芸術活動を推進するため、「文化芸術コーディネーター」を配置
【Ⅶ】41-④ 様々な文化財などを活用した交流の推進											
いわて文化芸術王国構築事業費（いわて文化芸術王国構築事業費） （文化振興課）	1.1	1.2	△ 0.1					Ⅲ-2			本県の特徴ある文化資源について、広く発信するため、ホームページ「いわての文化情報大事典」を運営
いわて文化芸術王国構築事業費（文化芸術振興基盤強化事業費） （文化振興課）	3.6	18.8	△ 15.2					Ⅲ-2			県内の文化芸術活動を推進するため、「文化芸術コーディネーター」を配置
新しい時代を切り拓くプロジェクトの推進											
3 三陸防災復興ゾーンプロジェクト											
さんりく音楽交流促進事業費 （文化振興課）	1.3	0.0	皆増	新規				Ⅲ-2	V-3		文化芸術を通じた被災地の地域活性化を促進するため、「さんりく音楽祭2022」を開催
4 北いわて産業・社会革新ゾーンプロジェクト											
世界遺産登録推進事業費 （文化振興課）	51.2	69.1	△ 17.9					Ⅲ-2	V-4		「平泉の文化遺産」の拡張登録に向けた取組、「明治日本の産業革命遺産」の世界遺産委員会決議事項に対応した取組、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の保存活用の取組等を実施
9 文化・スポーツレガシープロジェクト											
いわてアーツコンソーシアム推進事業費 （文化振興課）	8.0	0.0	皆増	新規				Ⅲ-2			文化芸術を生かしたまちづくりを進めるため、官民一体による文化芸術推進体制の構築等を推進
いわての文化国際交流推進事業費（いわての文化国際交流推進事業費） （文化振興課）	6.5	0.0	皆増	新規				Ⅲ-2		デ ジ タ ル 化	本県の文化資源を生かした映像の制作による国内外への情報発信や、「マンガ」を活用した海外との文化交流を実施
いわて文化芸術王国構築事業費（文化芸術振興基盤強化事業費） （文化振興課）	3.6	18.8	△ 15.2					Ⅲ-2			県内の文化芸術活動を推進するため、「文化芸術コーディネーター」を配置
さんりく音楽交流促進事業費 （文化振興課）	1.3	0.0	皆増	新規				Ⅲ-2	V-3		文化芸術を通じた被災地の地域活性化を促進するため、「さんりく音楽祭2022」を開催

「第3期岩手県文化芸術振興指針」に掲げる 指標の見直しについて

新型コロナウイルス感染症の影響等により、「岩手県民計画 政策推進プラン（2019～2022）」の指標を見直したことから、これと連動して「第3期岩手県文化芸術振興指針」に掲げる指標を見直しました。

[見直しのタイプ]

A 目標値を上げる指標	A-1	計画期間の目標に対する達成度を踏まえ、加速化する指標
	A-2	コロナ禍での工夫を講じることなどにより、加速化する指標
B 目標値を下げる指標	B-1	コロナの長期化により、今後も実績が低調となる見込みの指標
	B-2	R2年度実績が誘因となり、目標達成が困難となる累計指標
	B-3	コロナ禍での工夫を講じてもなお、目標達成が困難な指標
C R4年度の目標値を維持する指標	C-1	R3年度からは下方修正するが、R4年度は、現行の目標を維持する指標
	C-2	コロナ禍での工夫を講じながら、現行目標の達成を目指す指標
	C-3	R3・4年度ともに、コロナの影響がない指標
D その他	D-1	コロナの影響を踏まえ、置換えを行う指標
	D-2	コロナの影響を踏まえ、新たに追加する指標

「第3期岩手県文化芸術振興指針」掲載指標 新旧対照

1 岩手の特徴を生かした文化芸術の振興と交流の推進 9指標

改正前									改正後											
指標	単位	現状値		年度目標値					指標目標値	見直しのタイプ	指標	単位	現状値		年度目標値					指標目標値
		年次	現状値	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)					年次	現状値	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	
世界遺産等の来訪者数	千人	2017	927	927	937	950	950	950												
「世界遺産授業」の受講者数〔累計〕	人	2018	1,283	2,000	3,000	4,000	5,000	6,000												
文化遺産ネットワーク構成資産数〔累計〕	箇所	2018	—	5	10	10	15	20												
民俗芸能ネットワーク加盟団体数	団体	2017	396	396	396	396	396	396												
岩手県民俗芸能フェスティバル鑑賞者〔累計〕	人	2018	980	1,600	<u>2,400</u>	<u>3,200</u>	<u>4,000</u>	<u>4,800</u>	A-2	岩手県民俗芸能フェスティバル鑑賞者〔累計〕 ※2021年度（令和3年度）以降の目標値には、オンラインによる鑑賞者を含む。	人	2018	980	1,600	<u>5,455</u>	<u>7,505</u>	<u>9,605</u>	<u>11,755</u>		
国、県指定文化財件数	件	2018	565	573	577	581	585	589												
コミックいわてWEB訪問者数	人	2018	169,250	190,000	193,000	196,000	199,000	202,000												
「食の匠」組織による食文化伝承活動回数	回	2017	26	30	32	34	36	38	C-2	「食の匠」組織による食文化伝承活動回数 ※2021年度（令和3年度）以降の目標値には、動画を活用した活動を含む。	回	2017	26	30	32	34	36	38		
観光客数（歴史・文化に係る観光地点での入込客数）	千人	2017	3,325	3,355	<u>3,365</u>	3,375	3,385	3,395	C-1	観光客数（歴史・文化に係る観光地点での入込客数）	千人	2017	3,325	3,355	<u>2,144</u>	3,375	3,385	3,395		

2 県民誰もが文化芸術を鑑賞、参加、創造できる環境の整備 6指標

改正前									改正後											
指標	単位	現状値		年度目標値					指標目標値	見直しのタイプ	指標	単位	現状値		年度目標値					指標目標値
		年次	現状値	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)					年次	現状値	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	
岩手芸術祭参加者数〔累計〕	人	2018	26,506	49,000	71,000	93,000	115,000	137,000												
県内の公立文化施設における催事数	件	2017	1,316	1,358	1,372	1,385	1,398	1,411												
文化施設入場者数	千人	2017	168	172	174	176	178	180												
子どものための芸術家派遣事業公演数〔累計〕	件	2018	89	131	198	266	335	405												
様々な文化芸術に触れ、文化芸術に興味をわいたと感じている児童生徒の割合（小・中・高校生）	%	2018	小70 中71 高79	74 74 82	76 76 84	77 78 86	78 79 87	79 80 88												
岩手県障がい者文化芸術祭出展数〔累計〕	件	2018	312	635	960	1,290	1,625	1,965												

3 日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信 2指標

改正前								見直しの タイプ	改正後									
指標	単位	現状値		年度目標値					指針 目標値	指標	単位	現状値		年度目標値				指針 目標値
		年次	現状値	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)					2024 (R6)	年次	現状値	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	
文化芸術関連SNSフォロワー数	人	2018	5,914	5,300	5,600	5,900	6,200	6,500										
「いわての文化情報大事典」ホームページ訪問者数	人	2017	398,181	411,000	414,000	417,000	420,000	423,000										

4 文化芸術活動を総合的に支援する体制の構築 3指標

改正前								見直しの タイプ	改正後									
指標	単位	現状値		年度目標値					指針 目標値	指標	単位	現状値		年度目標値				指針 目標値
		年次	現状値	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)					2024 (R6)	年次	現状値	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	
岩手県文化芸術コーディネーターの活動件数〔累計〕	件	2018	433	815	1,230	1,650	2,075	2,505	A-1	岩手県文化芸術コーディネーターの活動件数〔累計〕	件	2018	433	815	1,730	2,265	2,805	3,350
アートマネジメント研参加者数〔累計〕	人	2018	55	80	120	180	200	240	B-2	アートマネジメント研参加者数〔累計〕 ※2021年度（令和3年度）以降の目標値には、オンラインによる参加者を含む。	人	2018	55	80	113	153	193	233
県立文化施設（県民会館、県立博物館、県立美術館）利用者数	人	2016	438,274	453,500	457,500	462,500	467,500	472,500	C-1	県立文化施設（県民会館、県立博物館、県立美術館）利用者数	人	2016	438,274	453,500	193,000	462,500	467,500	472,500

5 障がい者による文化芸術活動の総合的推進 4指標

改正前								見直しの タイプ	改正後									
指標	単位	現状値		年度目標値					指針 目標値	指標	単位	現状値		年度目標値				指針 目標値
		年次	現状値	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)					2024 (R6)	年次	現状値	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	
（再掲）岩手県芸術祭参加者数〔累計〕	人	2018	26,506	49,000	71,000	93,000	115,000	137,000										
（再掲）岩手県障がい者文化芸術祭出展数〔累計〕	件	2018	312	635	960	1,290	1,625	1,965										
岩手県障がい者音楽祭参加団体数	団体	2018	14	16	17	18	19	20	C-2	岩手県障がい者文化芸術祭参加団体数 ※2021年度（令和3年度）以降の目標値には、オンラインによる参加団体を含む。	団体	2018	14	16	17	18	19	20
障がい者文化芸術活動支援者育成研修受講者数〔累計〕	人	2018	86	80	120	160	200	240										